

LIXIL

Gスクリーン スライドルーパー

取付説明書

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- 施工は必ず専門の工事業者の方が行なってください。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味



警告

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。



注意

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号



ポイント

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。



- 取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。



補足

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

<施工の前に>



注意

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- 戸建住宅専用商品です。マンション等の高頻度に関閉する場所への設置はできません。
- 崖上や風の通り道等の強風地域および豪雪地域への施工は避けてください。
- 製品の作動範囲に障害物が無いか確認してください。
- ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を使い、下記締付けトルクで固定した後にゆりみがないか確認してください。
 - ・φ4ネジ：2.5N・m ± 0.5N・m (25±5kgf・cm)
 - ・φ5ネジ：3N・m ± 0.5N・m (30±5kgf・cm)



ポイント

- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。
- 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
- シーリング材は現場で手配してください。
- 施工手順は、「Gフレーム 取付説明書（E248）G取付説明書区分表」で使用する取付説明書を確認してください。
- 施工場所の寸法に製品が正しく納まるか確認してください。

<施工上のご注意>

⚠ 注意

- ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を確実に締付け、固定してください。
- アルミ製品が異種金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- 製品の改造は絶対にしないでください。
- 施工終了後は、ボルト、ネジなどにゆるみがないか確認してください。

🔑 ポイント

- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
 - ・作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具）を正しく使用してください。
 - ・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
 - ・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
 - ・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
 - ・作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
 - ・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- 取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
- 施工中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。

<基礎工事についてのご注意>

⚠ 注意

- 基礎は弊社指定の寸法以上にしてください。強度低下の原因になります。
- 寒冷地で凍上するおそれのある地域で使用する場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。強度低下の原因になります。
- 養生期間は十分にとり、その間に重い物をのせたり、振動を与えないでください。

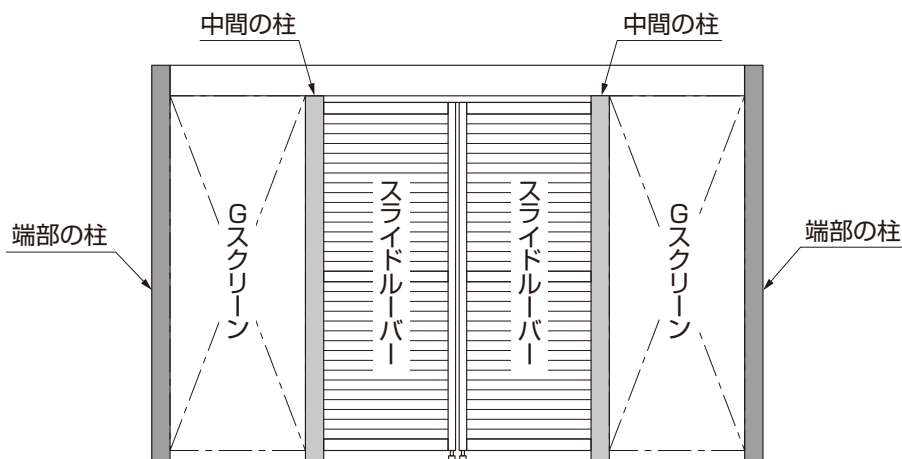
🔑 ポイント

- コンクリート（またはモルタル）には、塩分を含む砂（海砂）および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤（凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など）は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります。必要な場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。
- 柱・フレーム・ガイドレールの施工寸法に狂いが生じていないか、確認してから養生してください。
指定寸法から外れると以下の不具合が発生するおそれがあります。
 - ・パネルの吊下げができなくなります。
 - ・施工後、正常な開閉ができなくなります。
- モルタルやコンクリートの抽出液が、施工中に製品に付着しないように注意してください。抽出液は強アルカリ性で、シミやムラなどの外観不良の原因になります。
- 製品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは、速やかに拭き取ってください。

1. 施工前の重要確認事項

1-1 部材の確認

(1) 柱の設置について



ポイント

- スライドルーバーはH24のみ設置可能です。
- 端部の柱は「柱」または「柱(中間用)」を使用してください。
- 中間の柱は、必ず「柱(中間用)」を使用してください。

(2) スライドルーバーの袖に設置するGスクリーンについて

表1-1

Gスクリーン	●ルーバータイプ	●縦格子 ●細縦格子	●木虫籠 ●板塀	●デザイン格子 ●デザイン丸格子 ●デザイン板塀
Gスクリーン 施工方法	フレーム付け施工(※1)	フレームレス施工(※2)	取付けできません	
取付け可否				

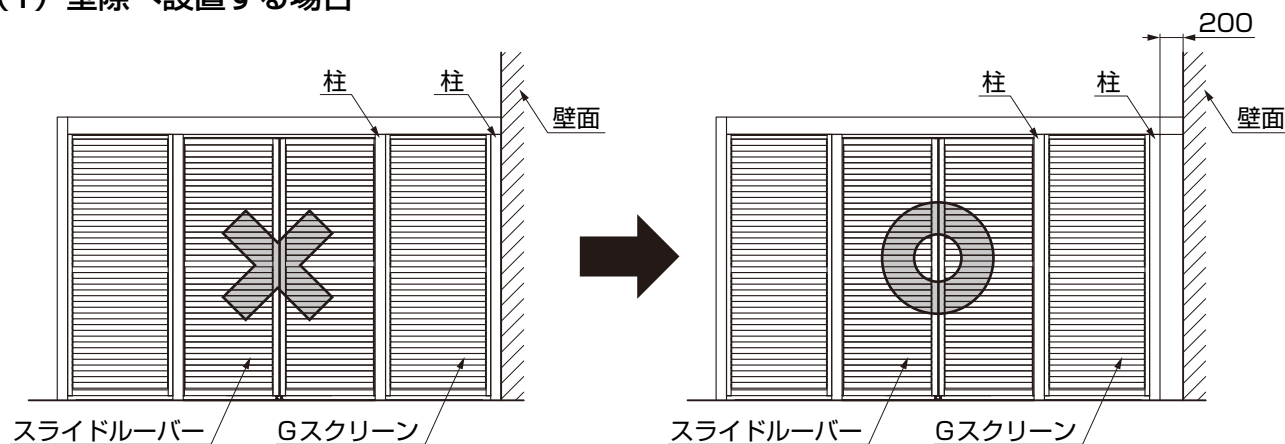
ポイント

- 上記 表1-1にしたがってGスクリーンの選定、施工を行なってください。
- (※1)のスクリーンはフレーム付け用を使用してください。
- (※2)のスクリーンはフレームレス用を使用してください。
- Gフレーム下面からGスクリーン上部まで30mmのすき間を確保してください。(※3)

1. (つづき)

1-2 施工条件

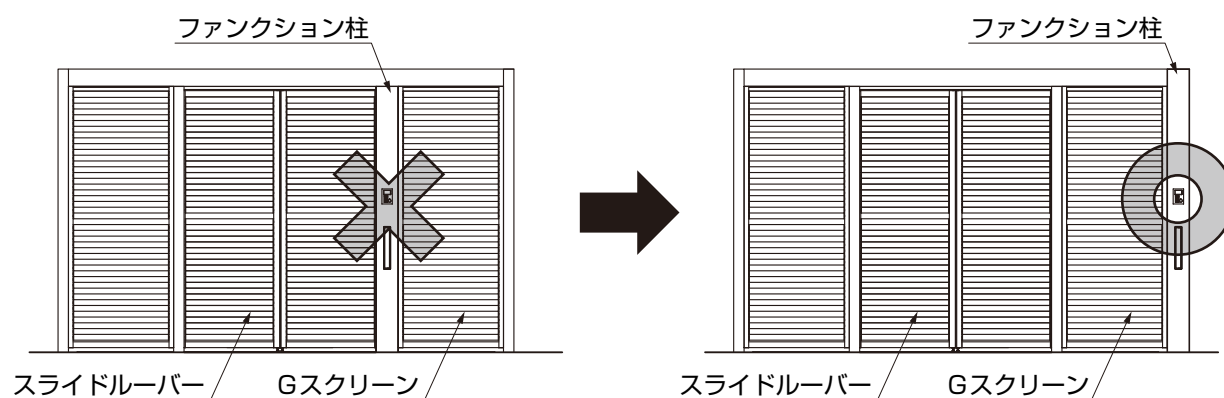
(1) 壁際へ設置する場合



ポイント

- 柱は壁面から200mm以上離して施工してください。柱と壁面の間隔が狭いと、パネルの取付け、取外しができません。

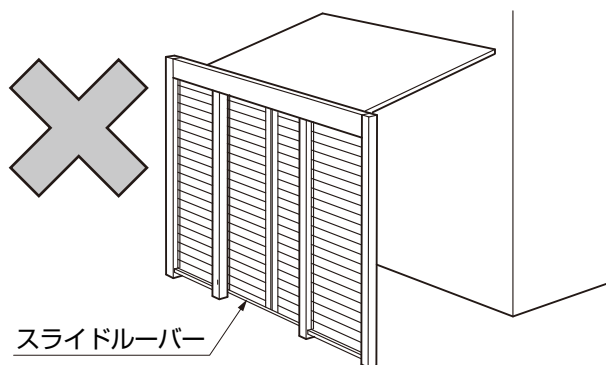
(2) ファンクション柱について



ポイント

- ファンクション柱をスライドルーバーの柱（中間用）として使用することはできません。柱（端部用）として使用してください。

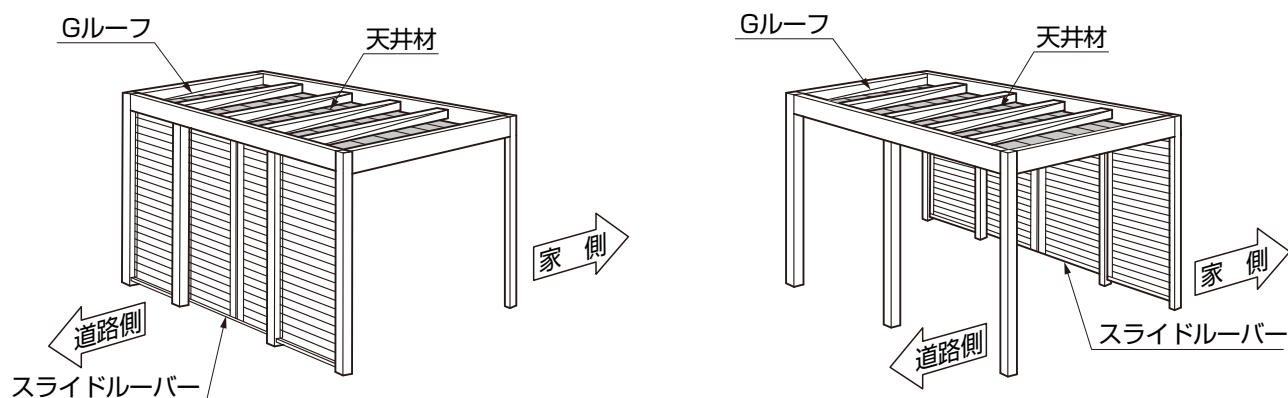
(3) Gルーフトラストタイプへのスライドルーバーの取付け



ポイント

- Gルーフトラストタイプへスライドルーバーの取付けはできません。

(4) Gルーフの天井材が取付いている場合



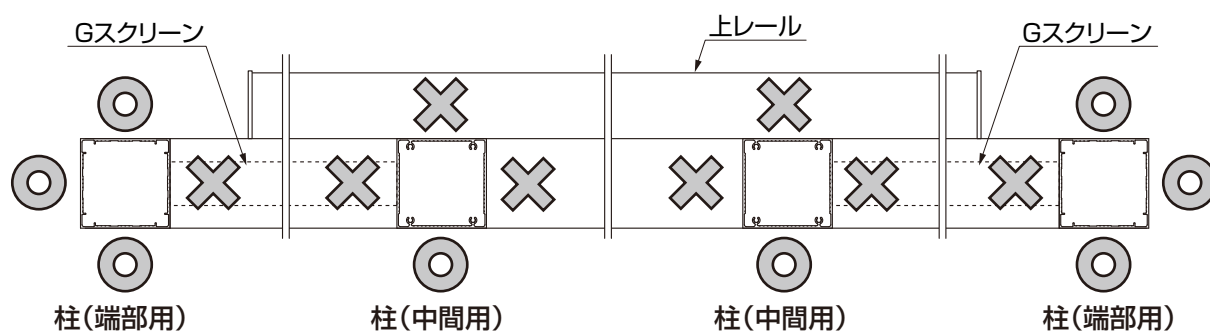
A : Gルーフの道路側にスライドルーバーを取付ける場合

B : Gルーフの家側にスライドルーバーを取付ける場合

ポイント

- AとBでは上レールの取付け手順が異なります。(「6. 上レール・スライドルーバーパネルの取付け」参照)

(5) Gルーフ化粧樋(縦樋)の取付けについて



ポイント

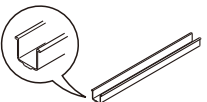
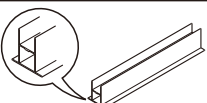
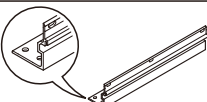
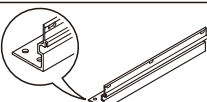
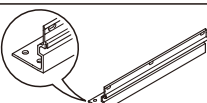
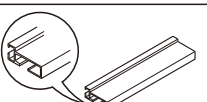
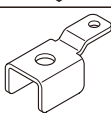
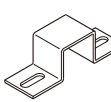
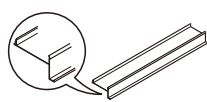
- スライドルーバーの柱にはGルーフの化粧樋(縦樋)を取付けできない箇所があります。図の○印の面のみ取付け可能です。

2. 梱包明細表

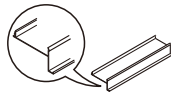
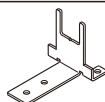
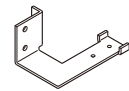
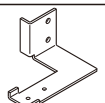
【1】スライドルーバーパネル本体

名 称	略 図	員 数			
		可動ルーバー		固定ルーバー	
		右	左	右	左
パネル本体 可動ルーバー右		1	—	—	—
パネル本体 可動ルーバー左		—	1	—	—
パネル本体 固定ルーバー右		—	—	1	—
パネル本体 固定ルーバー左		—	—	—	1

【2】レールセット

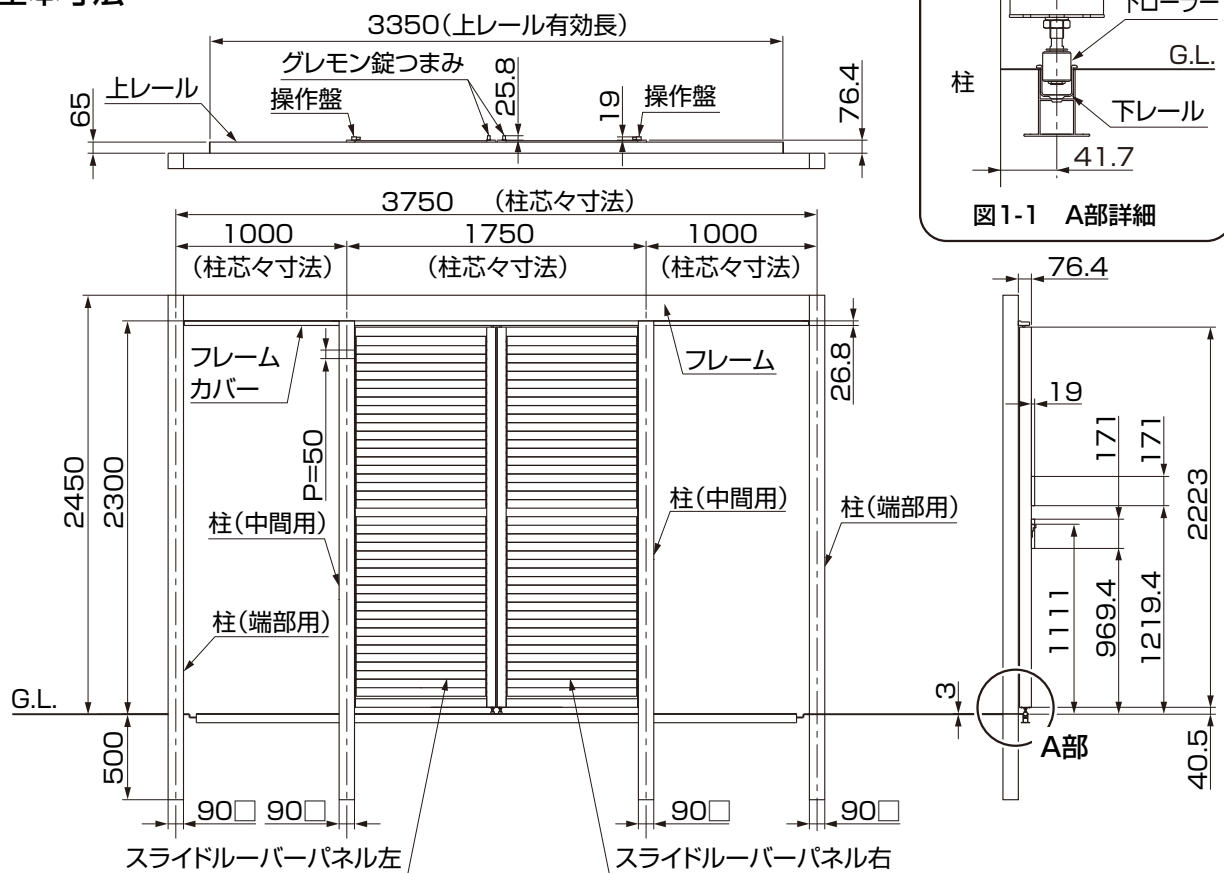
名 称	略 図	員数
下レール (L=3510)		1
下レールステー (L=3510)		1
上レールステーW10 (L=680)		2
上レールステーW20-A (L=975)		1
上レールステーW20-B (L=575)		1
先付け上レール (L=1893)		1
後付け上レール (L=1463)		1
上レールセンターストッパー		1
下レールセンターストッパー		1
フレームカバーW20 (L=1659)		1

【2】 レールセット (つづき)

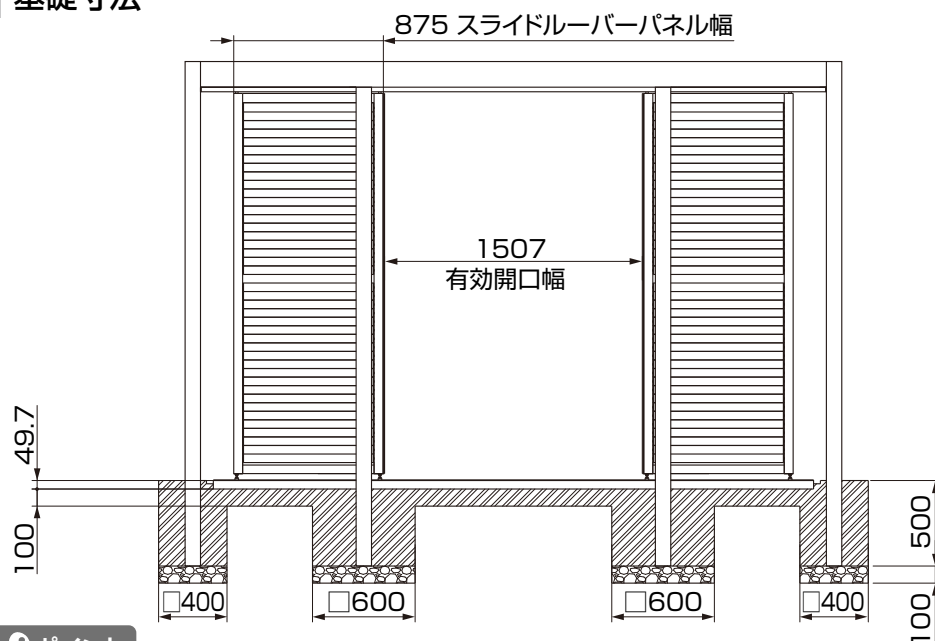
名 称	略 図	員数
フレームカバーW10 (L=909)		2
埋め込み用端部カバー		2
下レール連結金具 (L)		1
下レール連結金具 (R)		1
上レール化粧材 (L) (L=190)		1
上レール化粧材 (R) (L=190)		1
潤滑剤		1
【2-1】 φ5×16ナベドリルネジ：上レールステー取付ネジ		24
【2-2】 M4×10平小ネジ：上レールストッパー回転止めネジ		1
【2-3】 M4×10ナベ小ネジ：下レールステー取付ネジ		4
【2-4】 φ4×13ナベドリルネジ：埋め込み用端部カバー取付ネジ		4
【2-5】 φ4×13ナベドリルネジ：下レールステー連結金具取付ネジ		4
【2-6】 φ4×13ナベドリルネジ：下レールセンターストッパー取付ネジ		2
【2-7】 φ4×13ナベドリルネジ：上レール化粧材取付ネジ		2
【2-8】 φ4×12トラスタッピンネジ3種：上レール取付ネジ		11
【2-9】 φ5×20ナベタッピンネジ3種：上レールストッパー取付ネジ		1
【2-10】 φ5×19サラドリルネジ：下レール取付ネジ		6
【2-11】 M5バネ座金2号：上レールストッパー取付バネ座金		1
取付説明書 Gスクリーン スライドルーバー 〈C432〉	—	1
取扱説明書 Gスクリーン スライドルーバー 〈UC030〉	—	1

3. 基本寸法と各部の名称

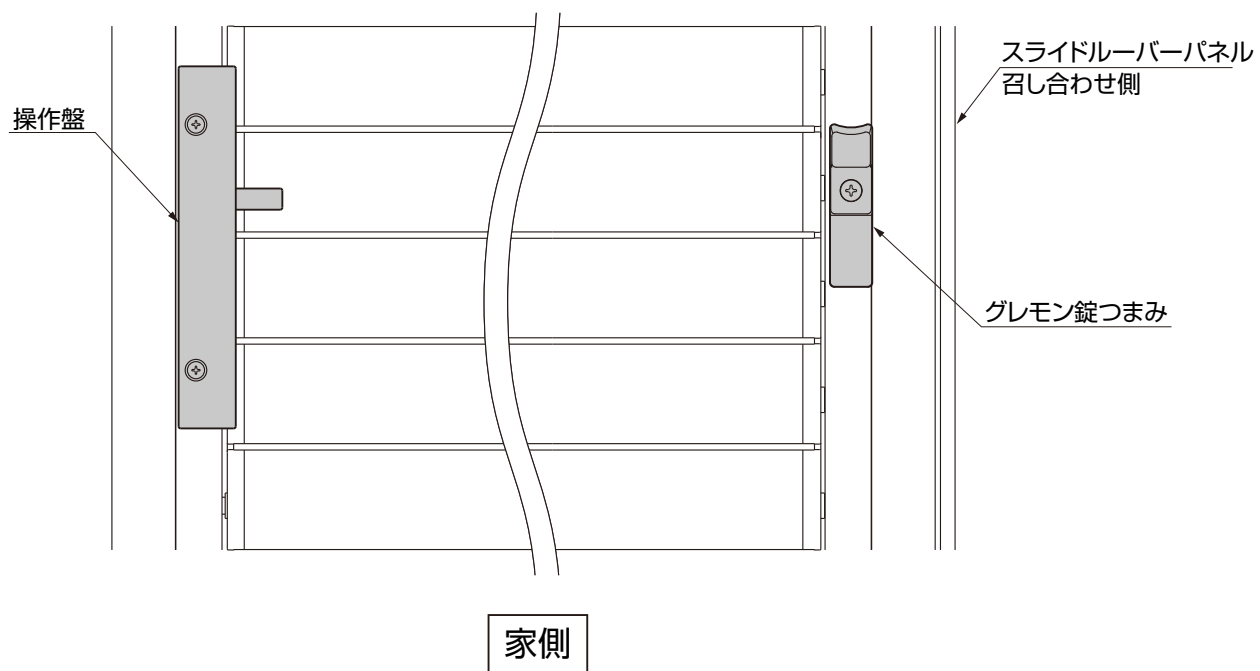
3-1 基本寸法



3-2 基礎寸法



3-3 操作部各部の名称



4. 基礎施工前の準備

4-1 柱の準備

(1) フレーム付け施工 Gスクリーンの取付け準備 ※ルーバータイプの場合

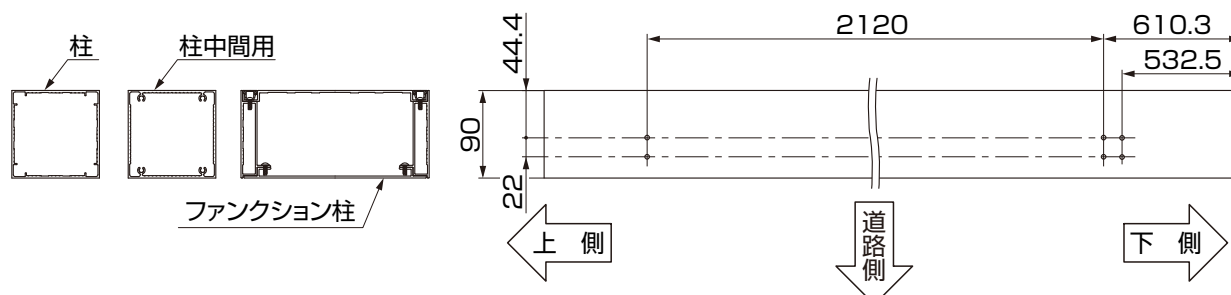
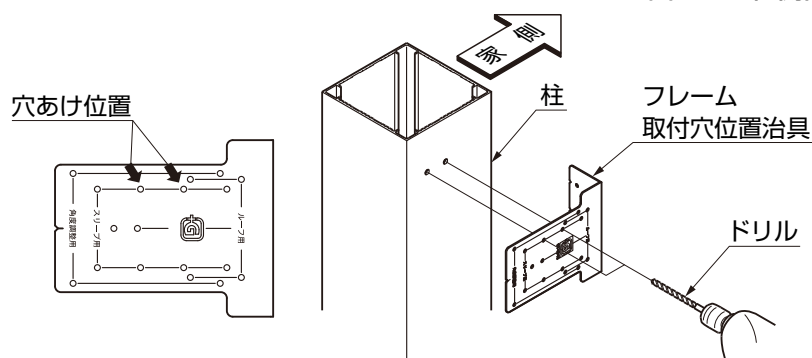


図4-1 柱断面図

図4-2 柱側面図



- ①柱の施工の前に柱にフレーム取付穴位置治具を角あてして、治具指定の穴を用いてパネル下キャップと縦枠固定ステー取付用の $\phi 3.5$ の穴をあけてください。

ポイント

- 柱中間用には向きがあります。（図4-1参照）間違えた場合、フレームに接続できません。

(2) フレームレス施工 Gスクリーンの取付け準備 ※縦格子、細縦格子、木虫籠、板塀の場合

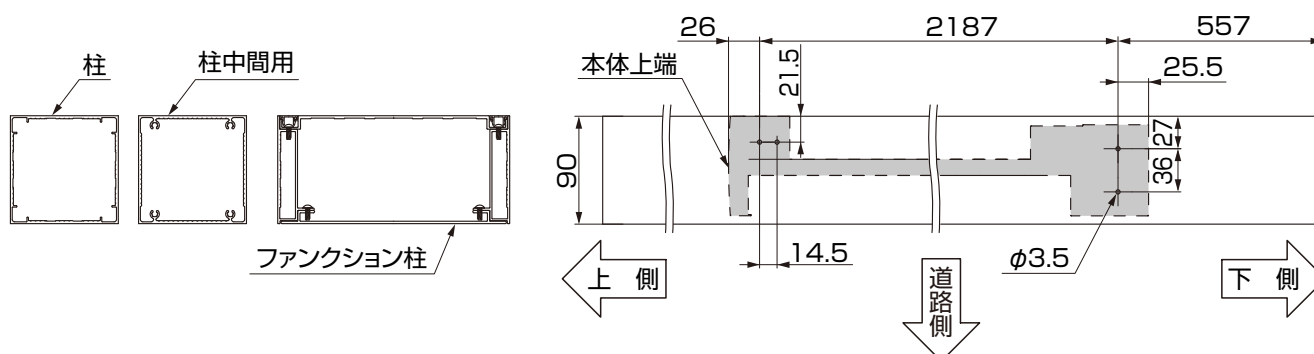


図4-3 柱断面図

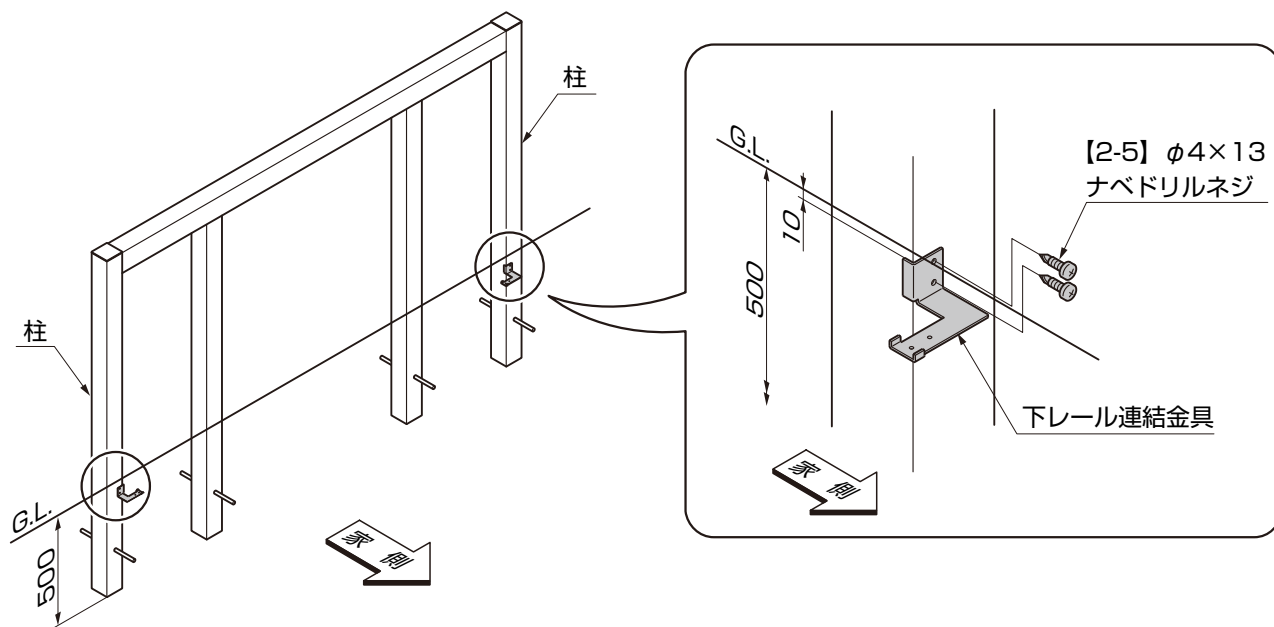
図4-4 柱側面図

- ①柱の施工の前に上胴縁金具、下胴縁金具取付用の $\phi 3.5$ の穴をあけてください。

ポイント

- 柱中間用には向きがあります。（図4-3参照）間違えた場合、フレームに接続できません。

(3) 下レール連結金具の取付け

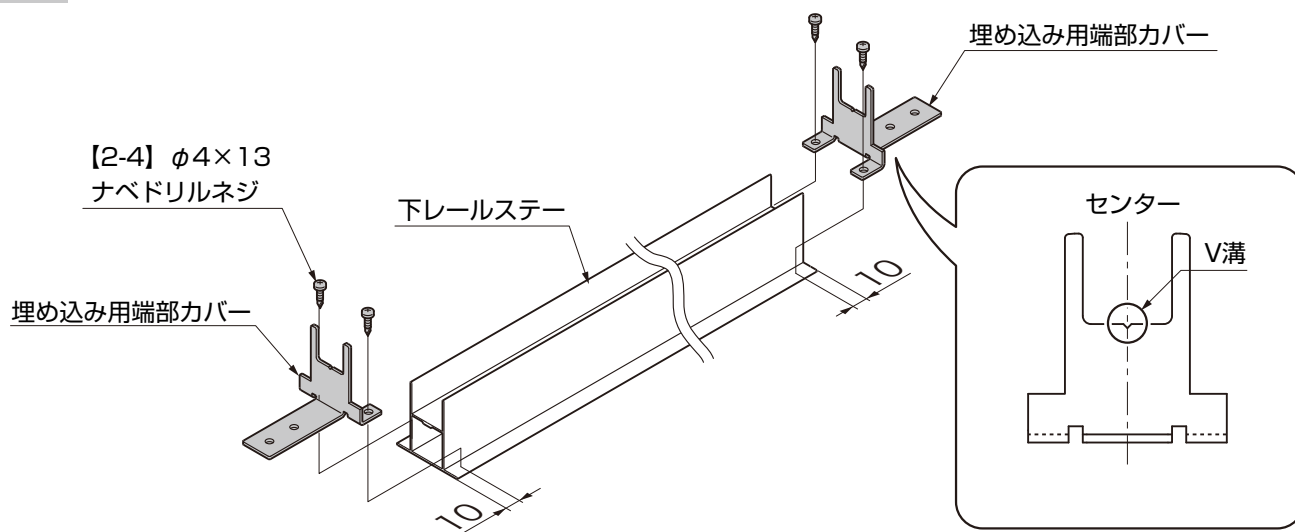


①下レール連結金具の上部をG.L.から10mm下の位置に合わせて、柱の家側に【2-5】で取付けてください。

ポイント

●下レール連結金具にはLおよびRがありますので、事前に柱の左右を確認してから取付けてください。

4-2 埋め込み用端部カバーの取付け



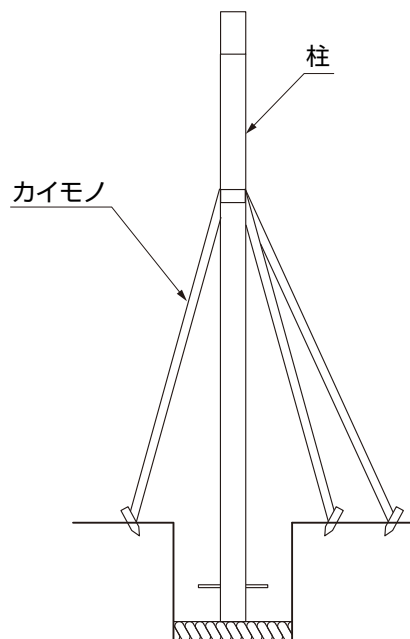
①埋め込み用端部カバーを下レールステーの両端に【2-4】で取付けてください。

ポイント

●埋め込み用端部カバーのV溝を下レールステーのセンターに合わせて取付けてください。

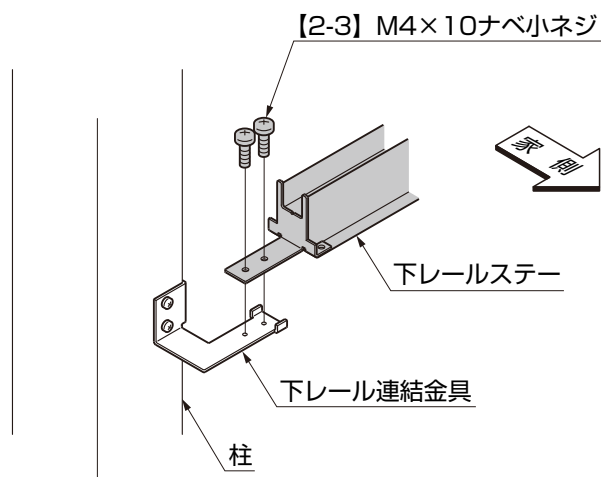
5. 基礎の施工

5-1 柱の施工

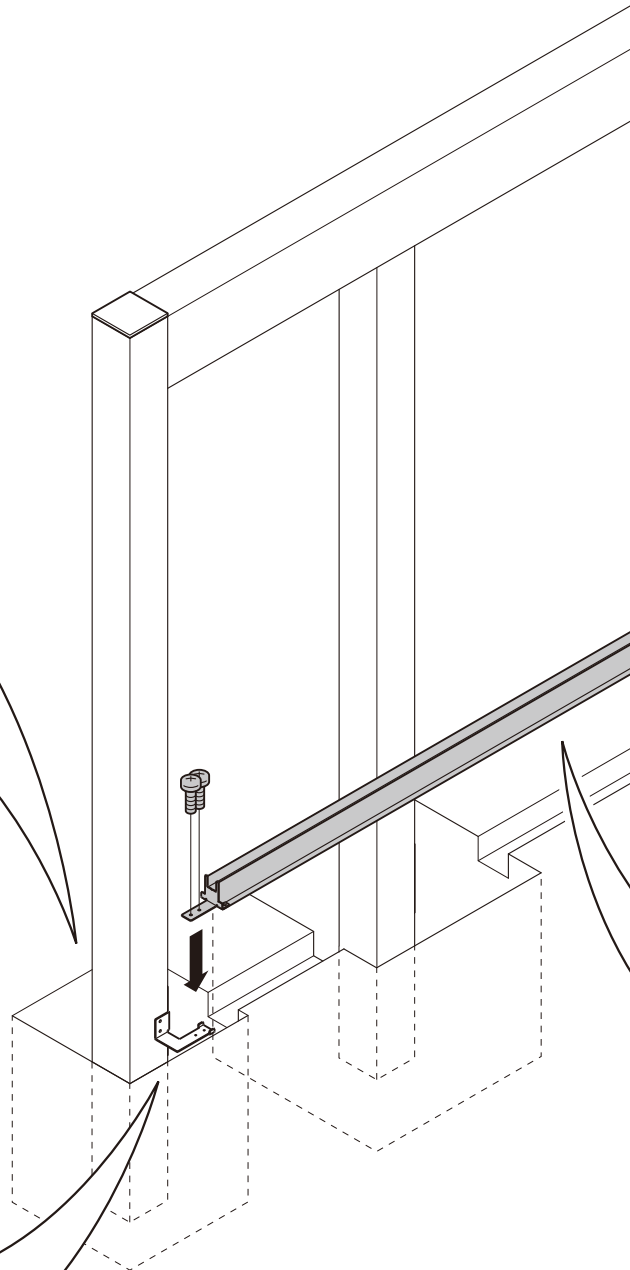


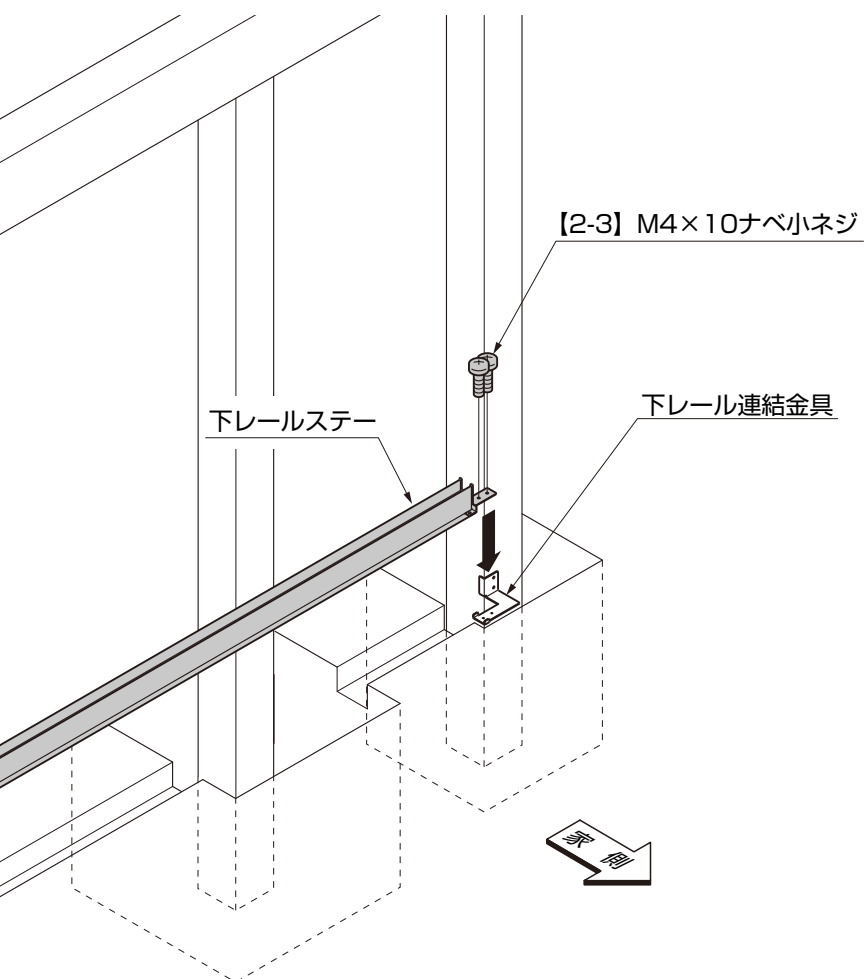
- ①「3. 基本寸法と各部の名称 3-2 基礎寸法」を確認して基礎穴を掘り、グリ石を敷いてください。
- ②柱をカイモノなどを使用して仮固定してください。

5-2 下ルールステーの取付け



- ①下ルールステーを下ルール連結金具に乗せて【2-3】で取付けてください。



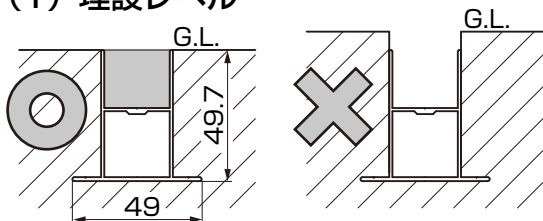


5-3 下レールステーの埋込み

ポイント

●コンクリート打設の際は、「5-4 基礎施工時の確認項目」を確認の上施工してください。

(1) 埋設レベル

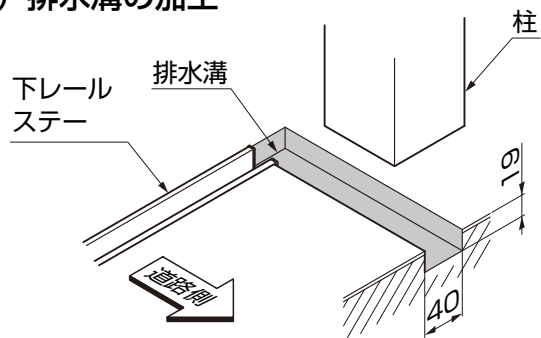


①下レールステーの上面をG.L.位置に合わせて埋め込み、仕上げをしてください。

ポイント

- G.L.仕上げ位置が下レールステーの上部より盛り上がりがないようにしてください。
- 内にコンクリートが入らないように打設、養生してください。

(2) 排水溝の加工



①下レールステーの両端部に排水溝の加工を施してください。

ポイント

- 排水溝内は雨水が溜まらないように傾斜を付けてください。

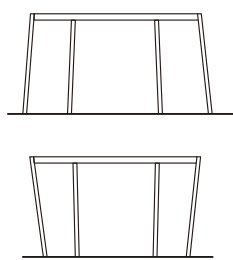
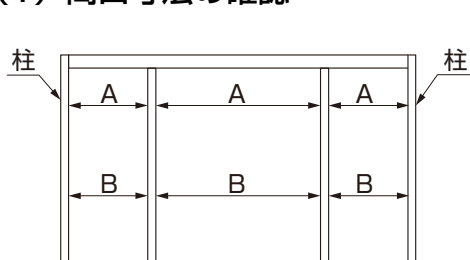
5. (つづき)

5-4 基礎施工時の確認項目 ※施工時に以下の確認を行なってください。

ポイント

- 柱・フレーム・下レールの施工寸法に狂いが生じていないか、確認してから養生してください。指定寸法から外れると以下の不具合が発生するおそれがあります。
 - ・パネルの吊下げができなくなります。
 - ・施錠ができなくなります。
 - ・施工後、正常な開閉ができなくなります。
 - ・Gスクリーンが取付けられなくなります。

(1) 間口寸法の確認

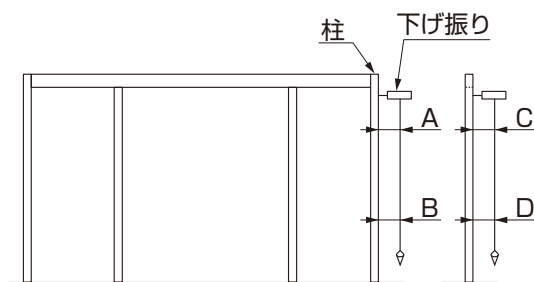


寸法を外れたイメージ

ポイント

- A、B上下2箇所の内々寸法をスケールを使用して測り、誤差がないことを確認してください。

(2) 柱の倒れの確認

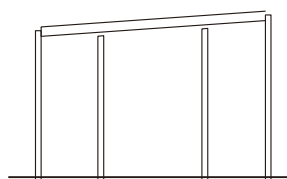
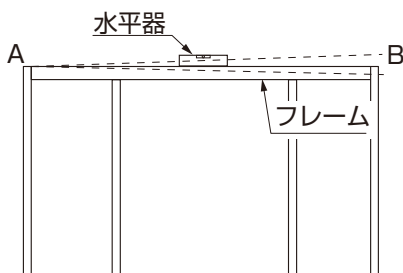


寸法を外れたイメージ

ポイント

- A、BとC、Dの上下2箇所の寸法を下げ振りを使用して測り、誤差がないことを確認してください。

(3) フレームの水平の確認

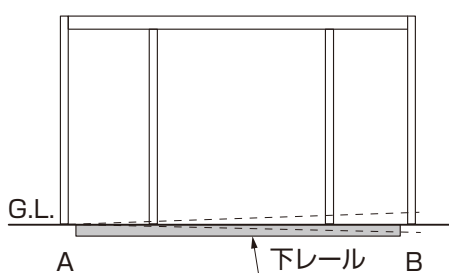


寸法を外れたイメージ

ポイント

- フレームに水平器を置き、A、B間が水平であることを確認してください。(±2.5mm以内)

(4) G.L.と下レールの水平の確認

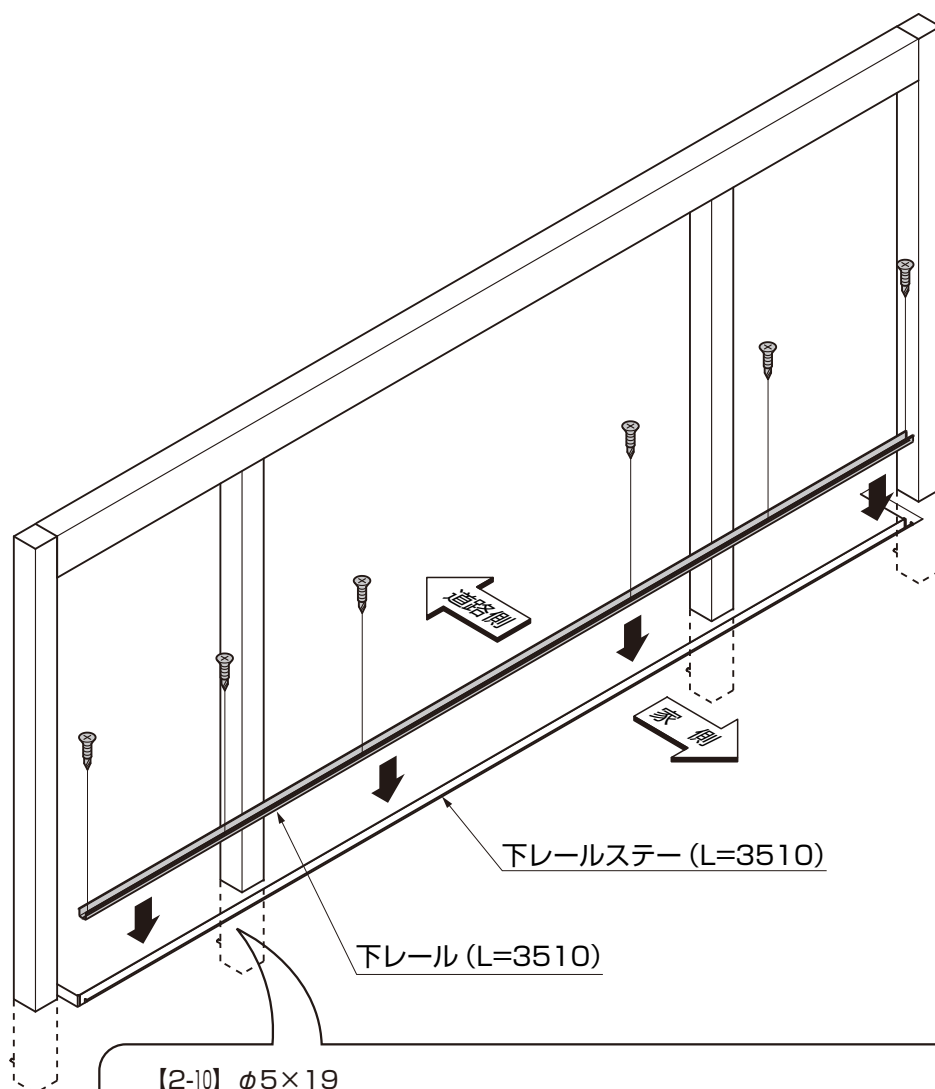


寸法を外れたイメージ

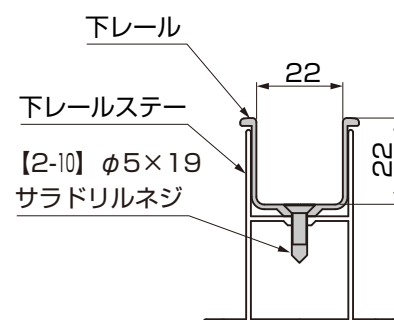
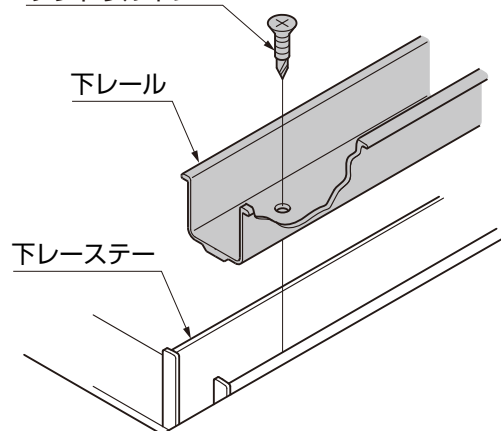
ポイント

- G.L.面と下レールA、B間が水平であることを確認してください。(±2.5mm以内)

6. 下レールの取付け



【2-10】 $\phi 5 \times 19$
サラドリルネジ



①下レールを下レールステーにはめ込み【2-10】で取付けてください。

ポイント

●下レールステー内に溜まった砂利やゴミなどを十分に取除いてから下レールを取付けてください。

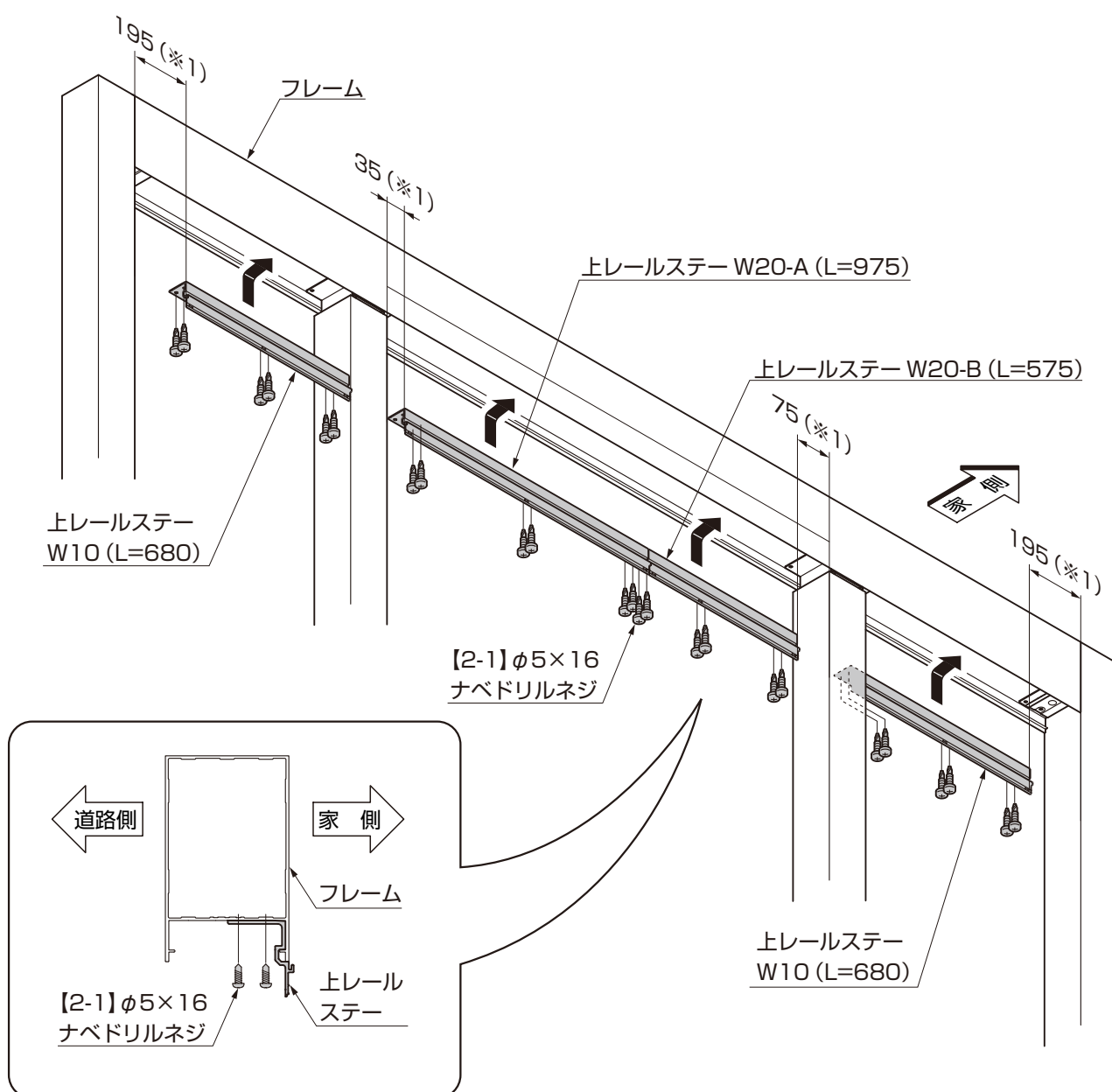
7. 上レール・スライドルバーパネルの取付け

7-1 フレーム単体へ取付ける場合

ポイント

- スライドルバーを取付けるフレームの家側にGルーフト天井材を取付ける場合は、「7-2 家側にGルーフの天井材が取付いている場合」を参照してください。

(1) 上レールステーの取付け

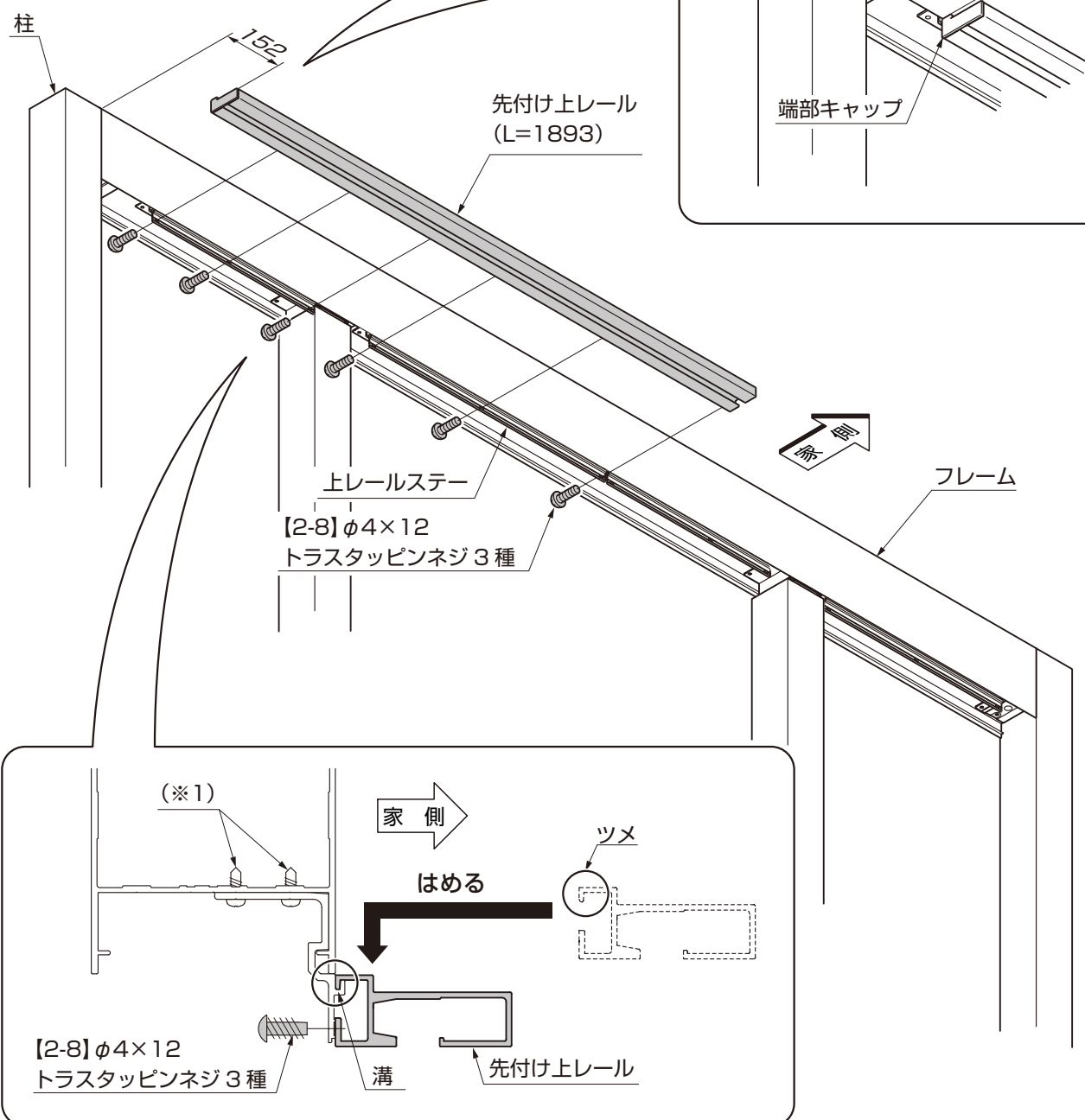


- ①上レールステーをフレームの上図の位置 (※1) に【2-1】で取付けてください。

ポイント

- スライドルバーを取付ける側を家側としてください。

(2) 先付け上レールの取付け



①先付け上レールのツメを上レールステーの溝にはめ込み、柱から 152mm 開けて【2-8】で取付けてください。

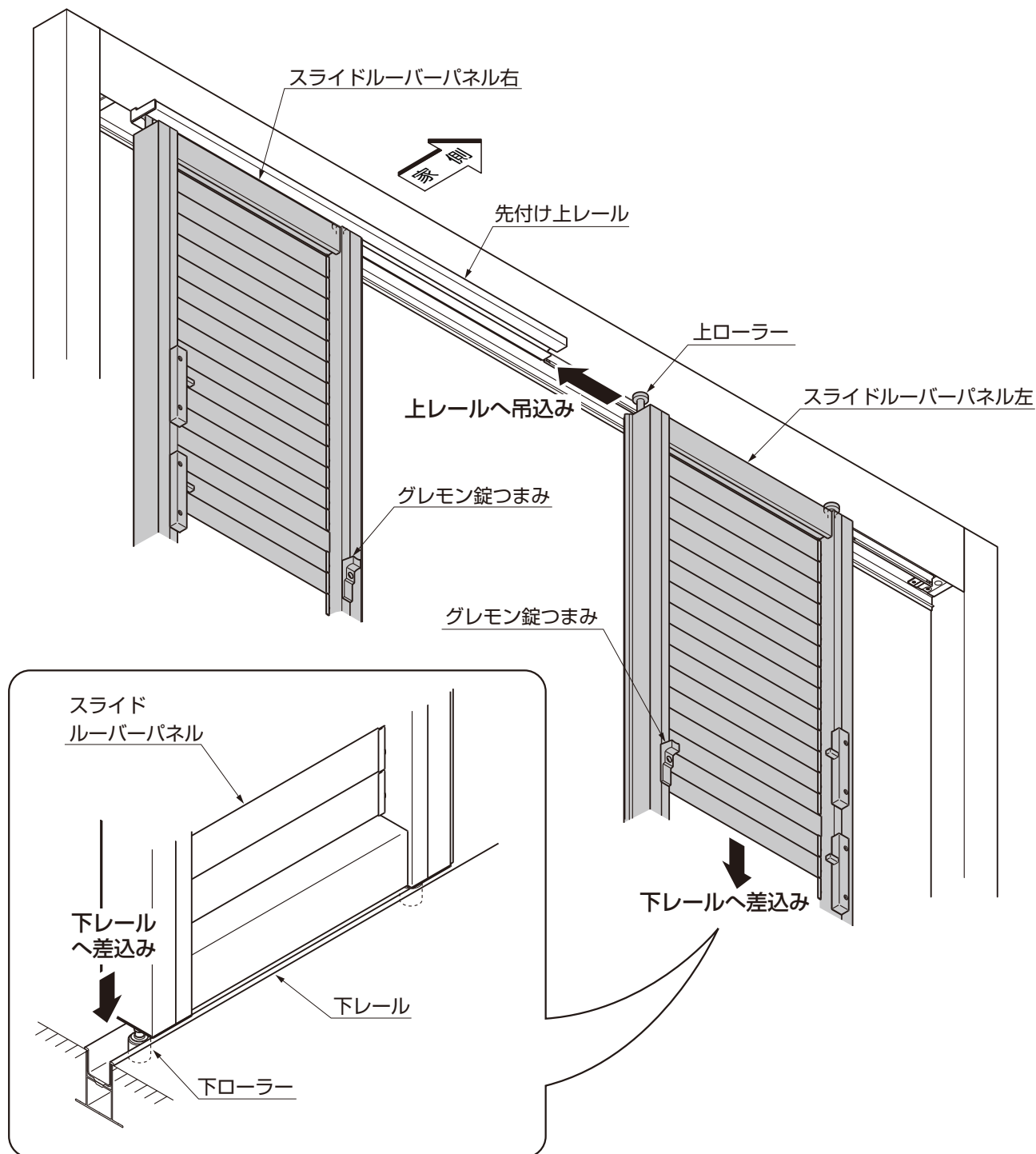
ポイント

●上レールステーの取付けネジ (※1) をゆるめると、はめ込みやすくなります。

7. (つづき)

7-1 つづき

(3) スライドルーバーパネルの取付け

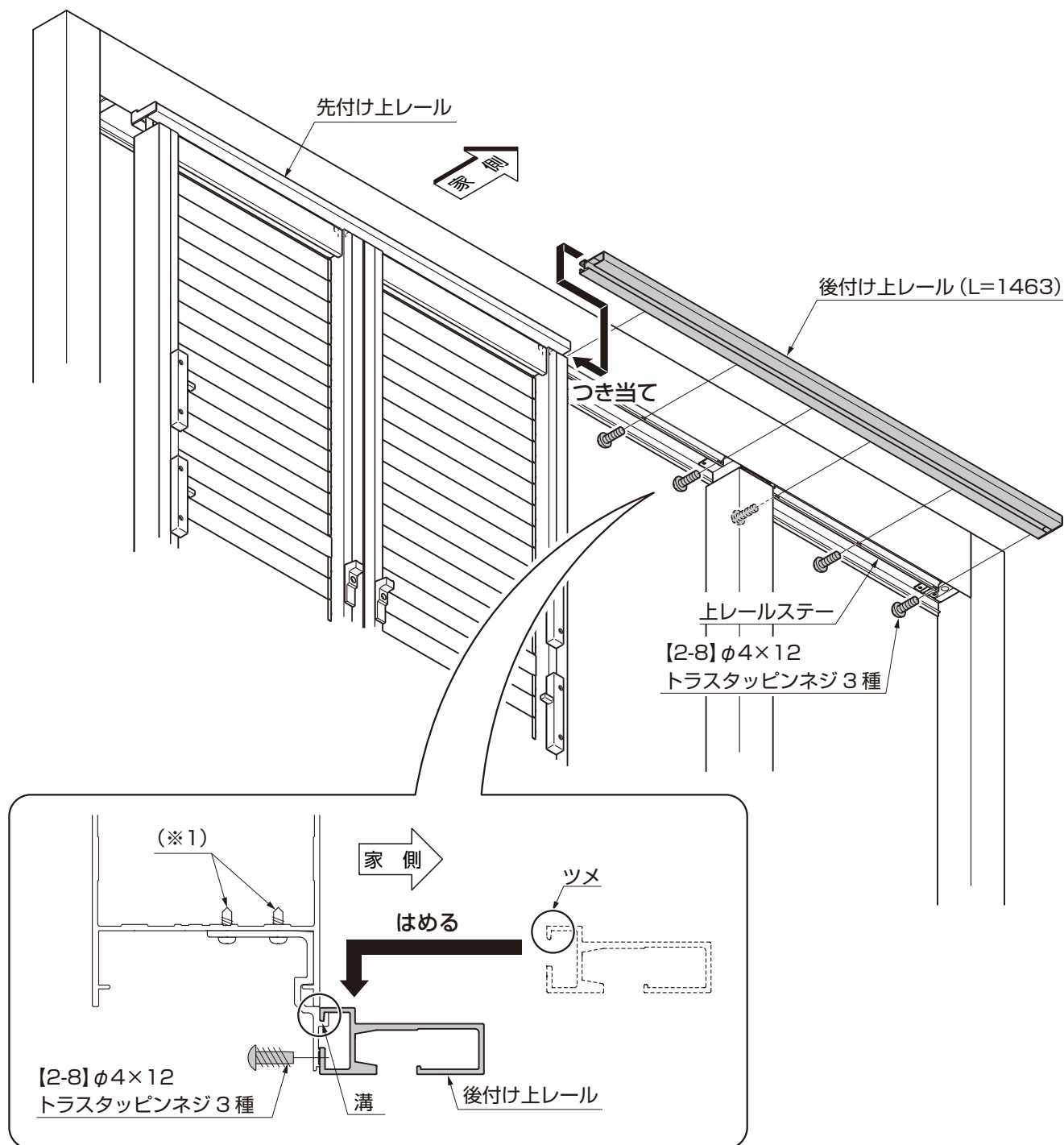


①スライドルーバーパネルの下ローラーを下レールに差込み、上ローラーを先付け上レールに吊込んでください。

ポイント

- グレモン錠つまみの取付側を家側にしてください。
- グレモン錠つまみの取付側が召し合わせになるように吊込んでください。

(4) 後付け上レールの取付け



①後付け上レールのツメを上レールステーの溝にはめ込み、先付け上レールにつき当てて【2-8】で取付けてください。

ポイント

- 上レールステーの取付けネジ (※1) をゆるめると、はめ込みやすくなります。

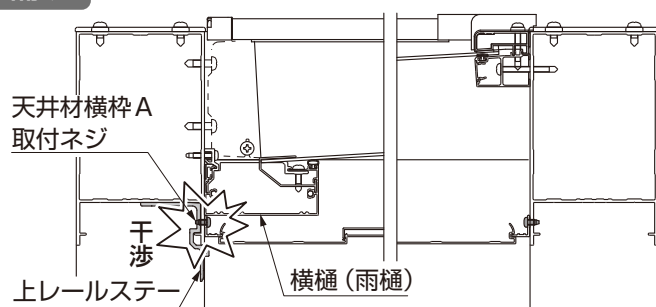
7. (つづき)

7-2 家側にGルーフの天井材が取付いている場合

ポイント

- スライドルバーを取付けるフレームの家側にGルーフの天井材を取付ける場合は、先に天井材の取付けを行なってください。天井材の取付けは、「Gルーフ-天井材フリータイプ- (E257)」を参照してください。
- スライドルバーを取付けるフレームの道路側にGルーフの天井材を取付ける場合は、「7-1 フレーム単体を取付ける場合」を参照してください。

補足



- 横樋 (雨樋) 側のフレームにスライドルバーを取付ける場合、天井材横枠A 取付ネジと上レールステーが干渉します。そのため、上レールステーにネジを逃がす穴加工が必要になります。
- 横樋 (雨樋) がない側のフレームにスライドルバーを取付ける場合「(3)上レールと上レールステーの取付け」へ進んでください。

(1) 上レールステーの加工穴の位置出し

※横樋 (雨樋) 側のフレームにスライドルバーを取付ける場合のみ

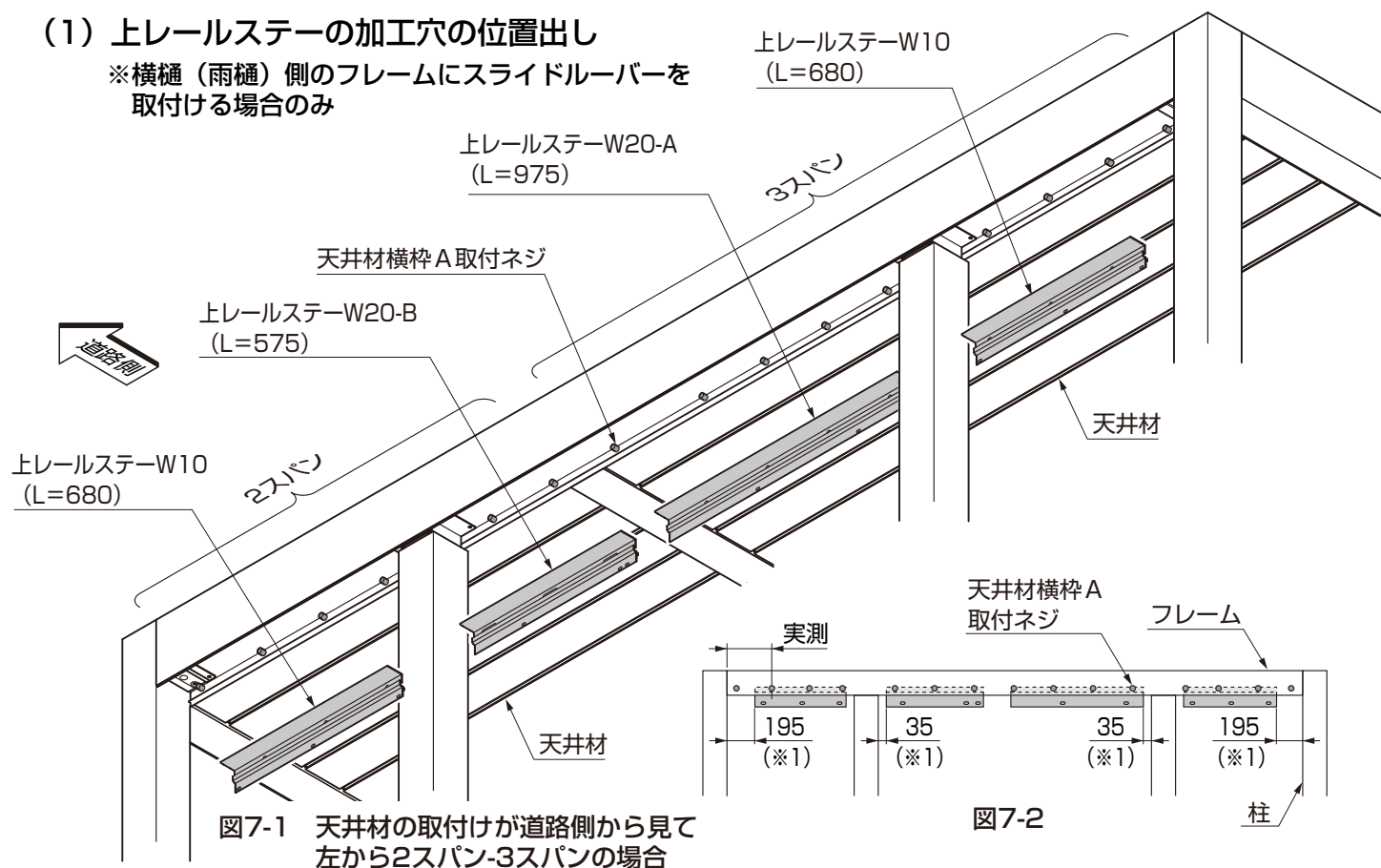


図7-1 天井材の取付けが道路側から見て左から2スパン-3スパンの場合

図7-2

●天井材が図7-1のように取付いている場合

- ①天井材が図7-1のように道路側から見て、左から2スパン-3スパンの順で取付いている場合のみ、図7-3～図7-6の位置にしたがって上レールステーに穴加工位置をけがいてください。

●天井材が図7-1以外で取付いている場合

- ①天井材が図7-1以外で取付いている場合、(※1)の位置に上レールステーの端部がそれぞれ合うように、実測した天井横枠A 取付ネジの取付けピッチに合わせて、上レールステーに穴加工位置をけがいてください。(図7-2参照)

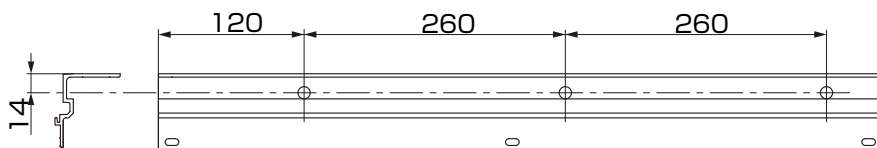


図7-3 上レールステーW10 (L=680) : 道路側から見て左端

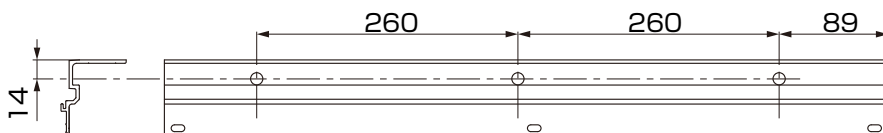


図7-4 上レールステーW10 (L=680) : 道路側から見て右端



図7-5 上レールステーW20-A (L=975) : 道路側から見て中央右

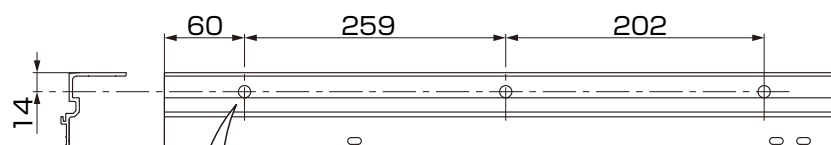


図7-6 上レールステーW20-B (L=575) : 道路側から見て中央左

補足

※上レールステーW20-Bだけ加工が変わります。

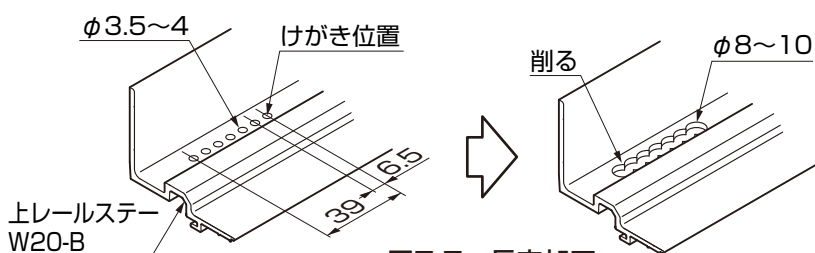


図7-7 長穴加工

●「(6) 後付け上レールの取付け」でフレームにはめ込み、40mmスライドさせるため、逃げ穴加工が長穴になります。

(2) 上レールステーの穴加工 ※横樋（雨樋）側のフレームにスライドルーバーを取付ける場合のみ

●W10、W20-Aの場合

- ① (1) でけがいた位置にφ8~10の逃げ穴を加工してください。
- ② 上レールステーをフレームに仮組みして、天井材横枠A取付ネジと干渉しないか確認してください。

●W20-Bの場合

- ① (1) でけがいた位置を基準に道路側から見て左方向に、6.5のピッチでφ3.5~4の下穴を開けてからφ8~10の逃げ穴を加工してください。(図7-7参照)
- ② やすり等で、①で開けた逃げ穴の出っ張りを削ってください(図7-7参照)
- ③ 上レールステーをフレームに仮組みして、40mmスライドさせて天井材横枠A取付ネジと干渉しないか確認してください。

補足

●上レールステーと上レールを取付けた状態でフレームにはめ込むと外れなくなるおそれがあります。そのため、上レールステーと上レールを取付ける前に、天井材横枠A取付ネジと干渉していないか確認してください。

7. (つづき)

7-2 つづき

(3) 上レールと上レールステーの取付け

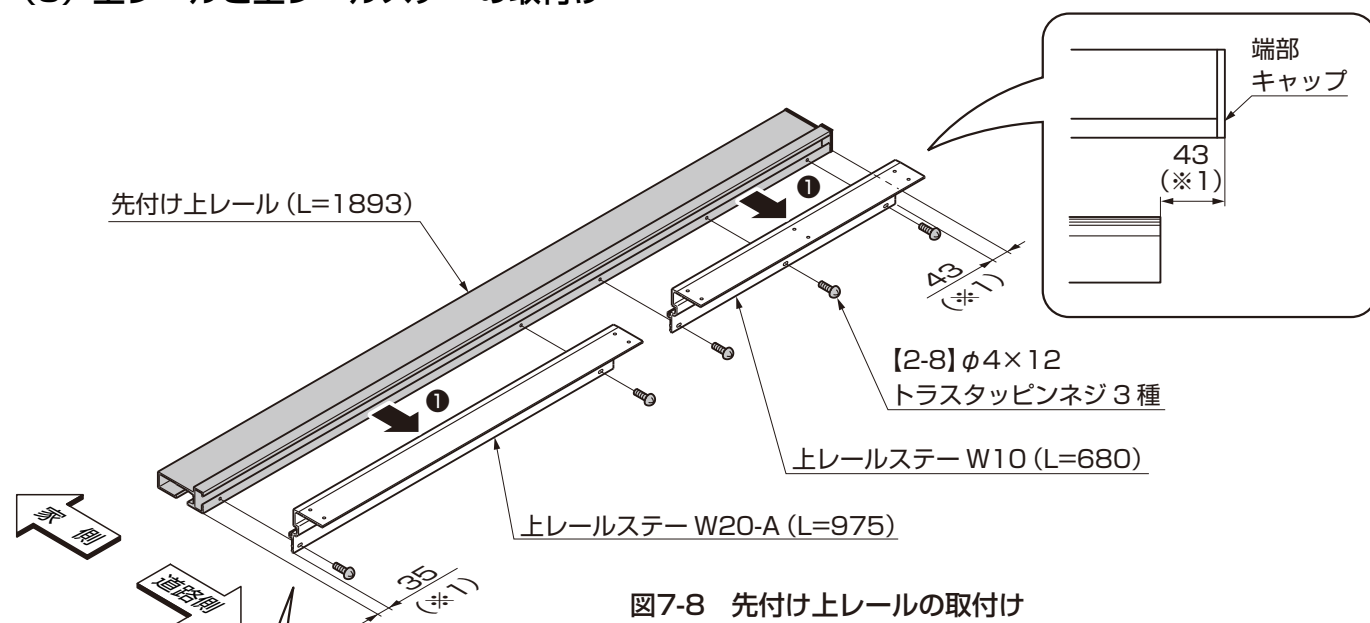


図7-8 先付け上レールの取付け

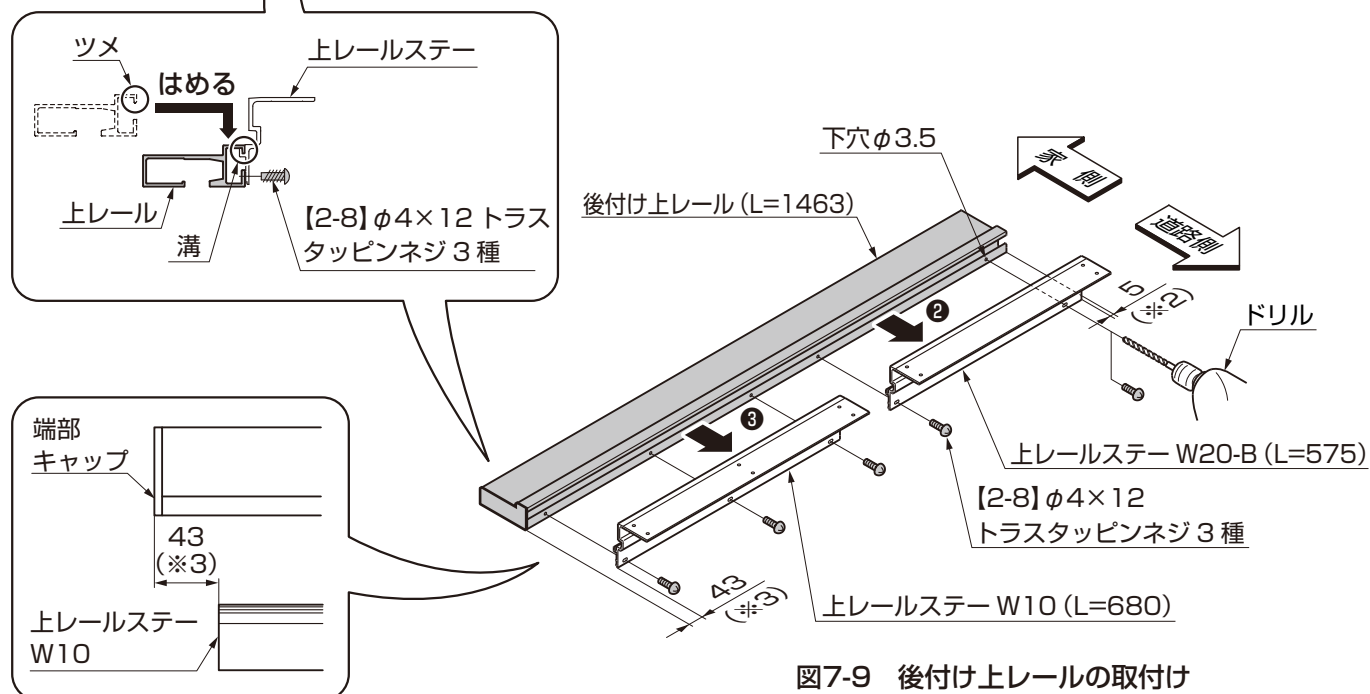
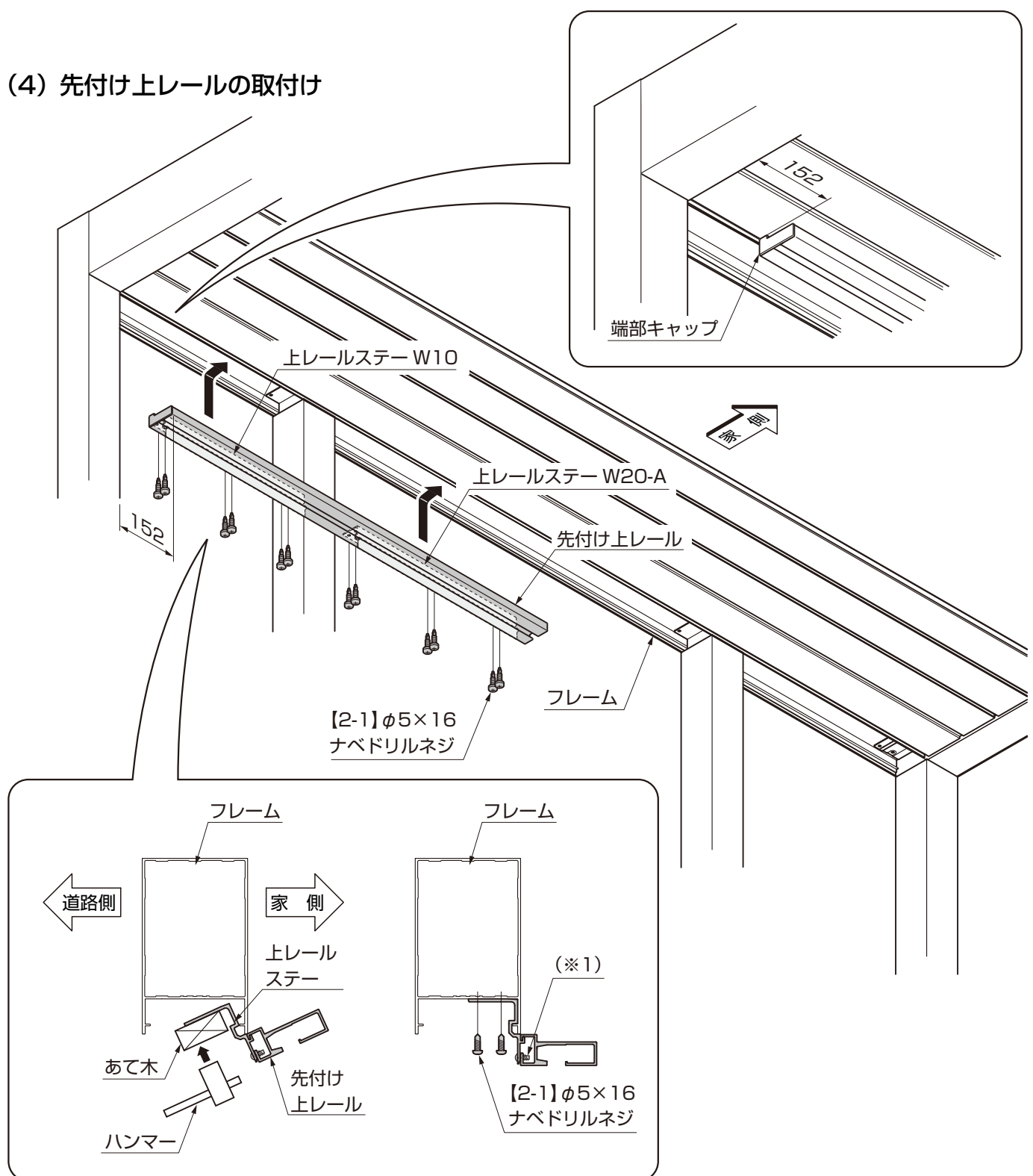


図7-9 後付け上レールの取付け

- ①先付け上レールのツメを上レールステーの溝にはめ込み、上図の位置 (※1) に【2-8】で取付けてください。(図7-8参照)
- ②後付け上レールのツメを上レールステーW20-Bの溝にはめ込み、上図の位置 (※2) に合わせて上レールにφ3.5の下穴を開け、【2-8】で取付けてください。(図7-9参照)
- ③後付け上レールのツメを上レールステーW10の溝にはめ込み、上図の位置 (※3) に【2-8】で取付けてください。(図7-9参照)

(4) 先付け上レールの取付け



①先付け上レールをフレームに回転させてはめ込み、柱から 152mm 開けて【2-1】で取付けてください。

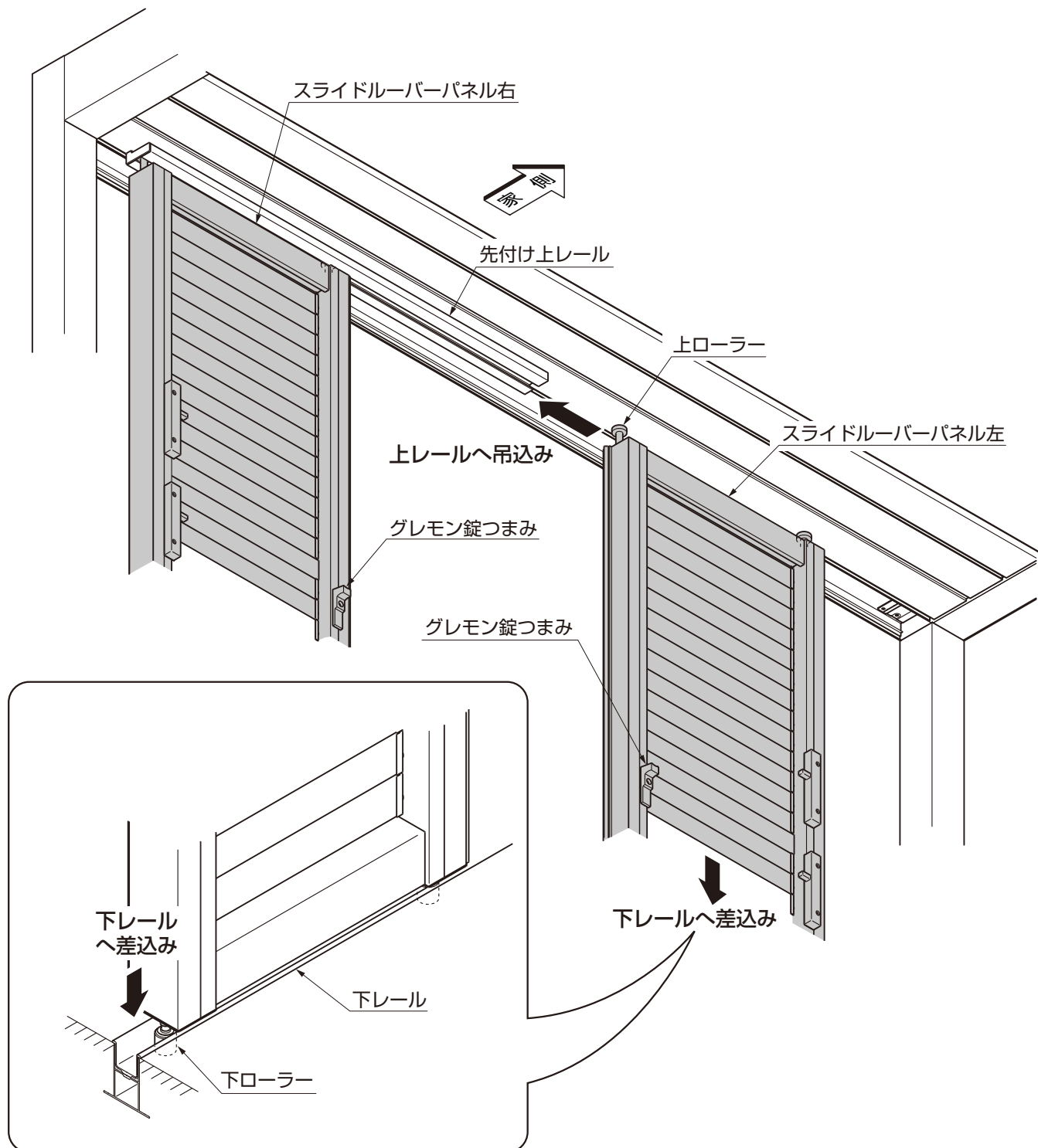
ポイント

- はめにくい場合は、上レールステーにあて木などをして軽く叩き込んでください。
- 上レールの取付けネジ(※1)をゆるめると、はめ込みやすくなります。

7. (つづき)

7-2 つづき

(5) スライドルーバーパネルの取付け

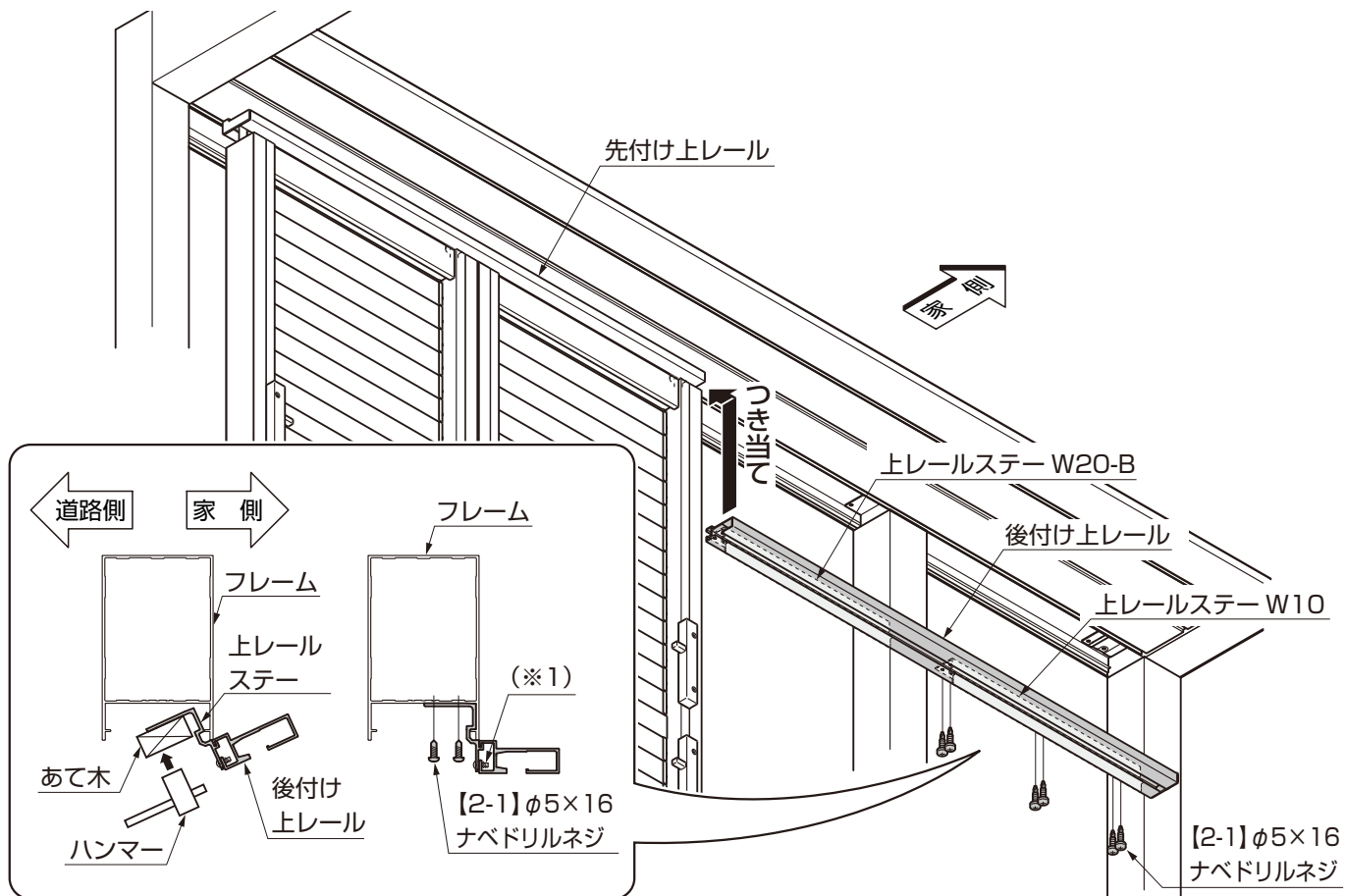


①スライドルーバーパネルの下ローラーを下レールに差込み、上ローラーを先付け上レールに吊込んでください。

ポイント

- グレモン錠つまみの取付側を家側にしてください。
- グレモン錠つまみの取付側が召し合わせになるように吊込んでください。

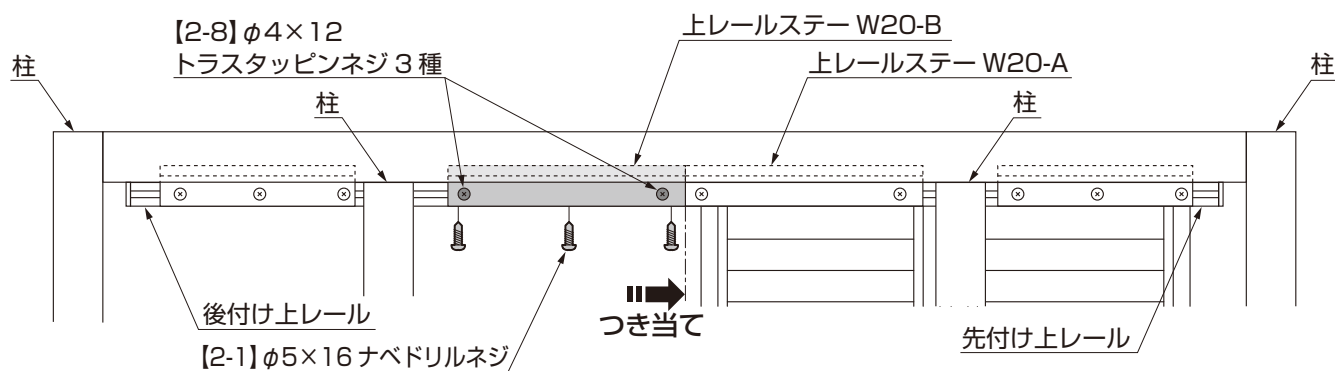
(6) 後付け上レールの取付け



①後付け上レールをフレームに回転させてはめ込み、先付け上レールにつき当て、上レールステー W10 を【2-1】で取付けてください。

ポイント

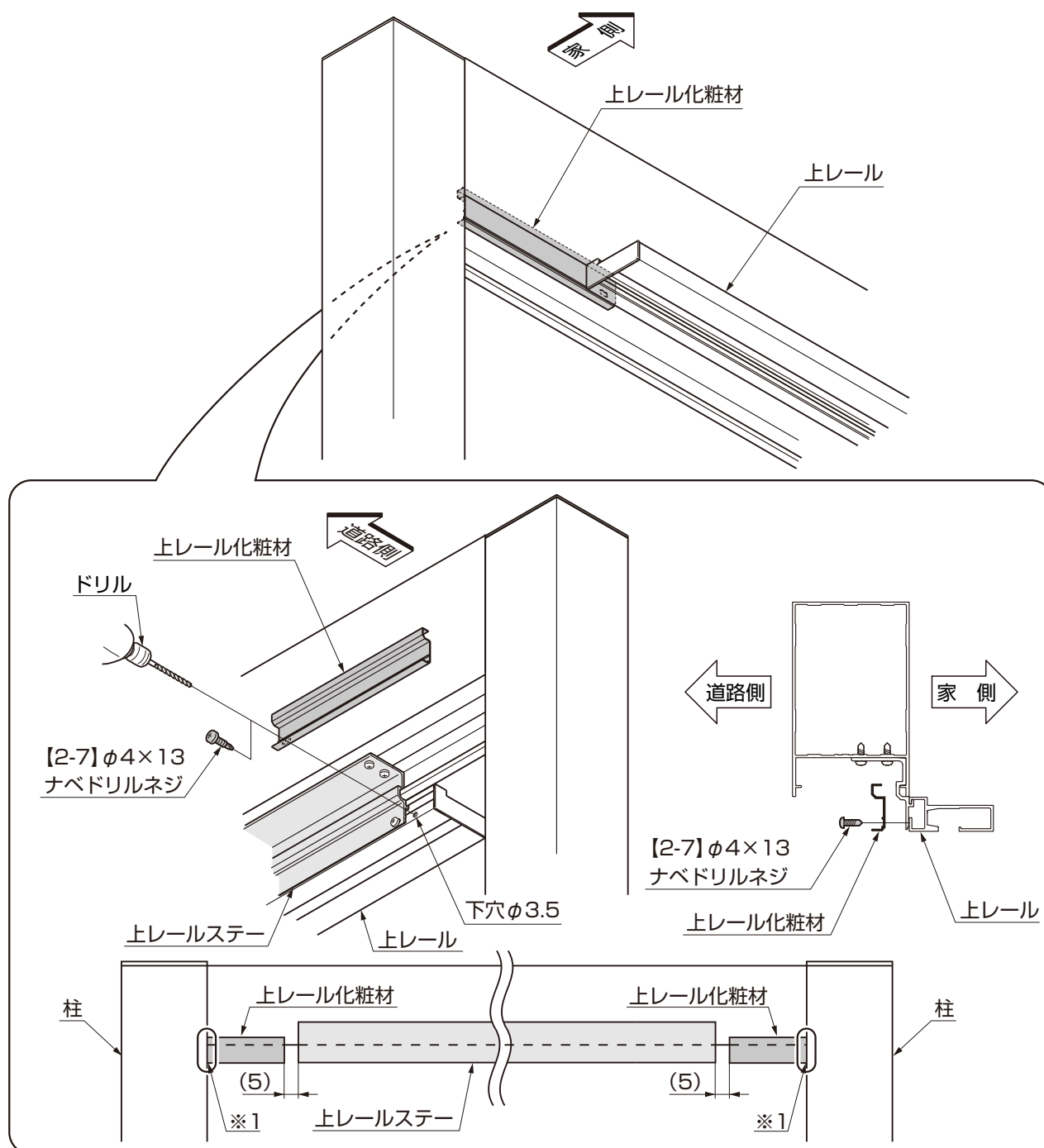
- はめにくい場合は、上レールステーにあて木などをして軽く叩き込んでください。
- 上レールの取付けネジ(※1)をゆるめると、はめ込みやすくなります。



- ②上レールステー W20-B を固定している【2-8】を取外し、上レールステー W20-A につき当て、再度【2-8】で取付けてください。
- ③上レールステー W20-B をフレームに【2-1】で取付けてください。

8. フレームカバーの取付け

8-1 上レール化粧材の取付け



- ①上レール化粧材の下穴に合わせて上レールにφ3.5の下穴加工をしてください。
- ②上レール化粧材を上レールに【2-7】で取付けてください。

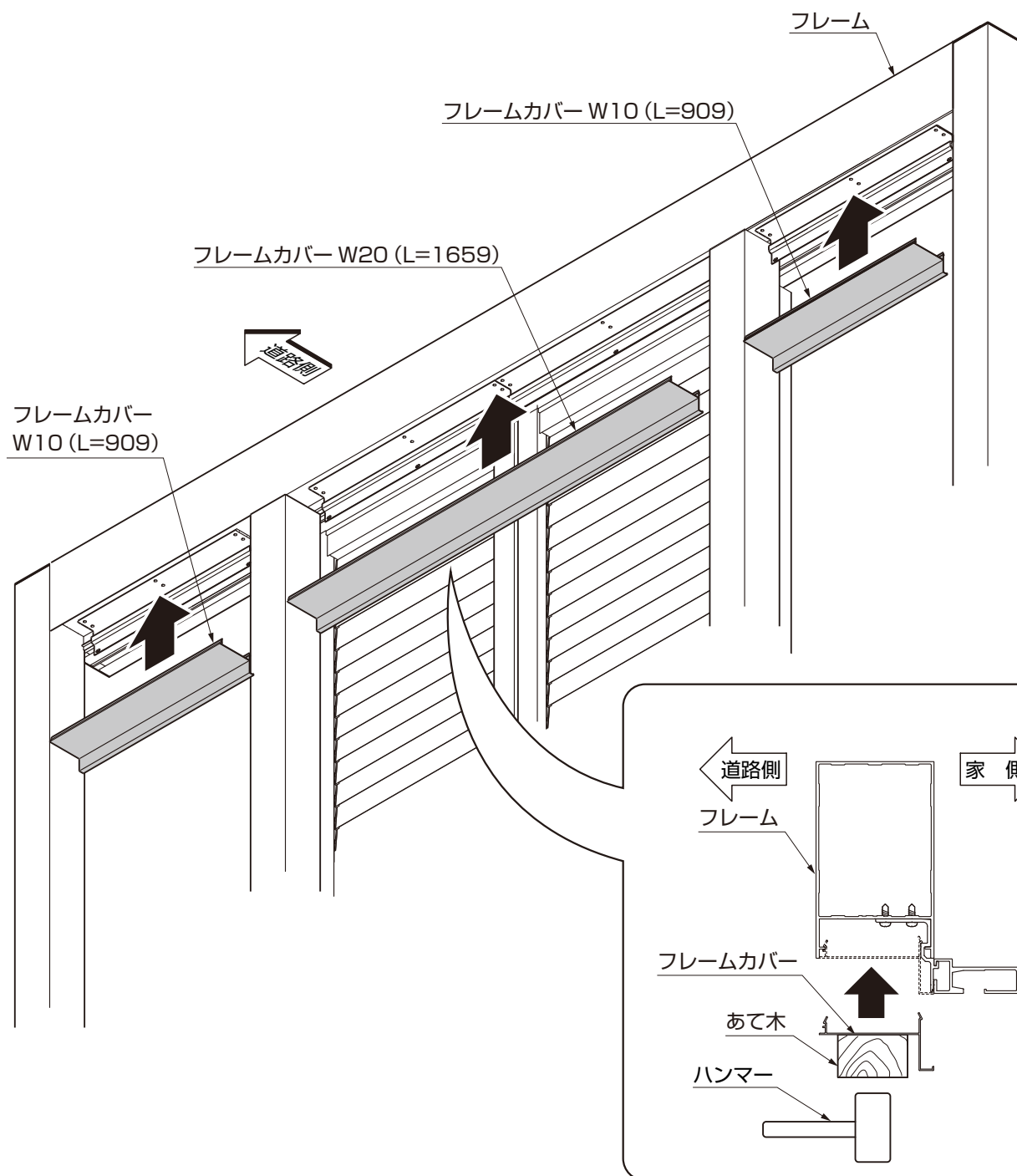
ポイント

上レール化粧材の端部（※1）を柱につき当たるように取付けてください。

補足

●上レールステーと上レール化粧材の間に5mm程度すき間ができますが問題ありません。

8-2 フレームカバーの取付け



① フレームカバーをフレームにはめ込んでください。

ポイント

● はめにくい場合は、フレームカバーにあて木などをして軽く叩き込んでください。

9. センターストッパーの取付け

9-1 上レールセンターストッパーの取付け

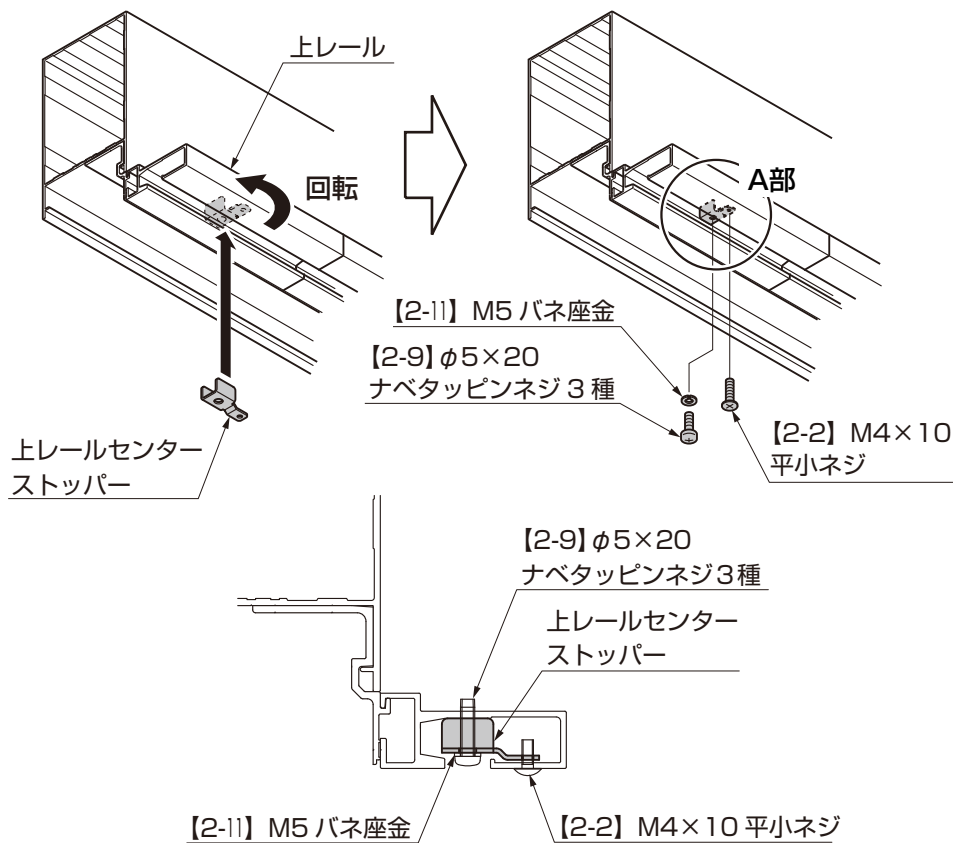
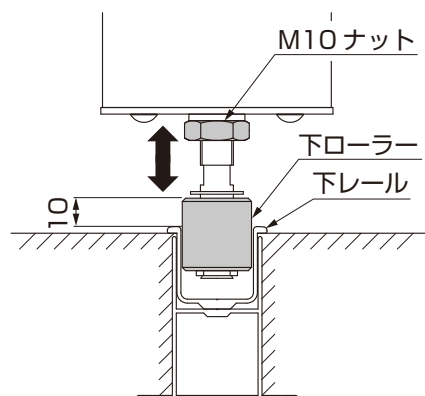


図9-1 A部詳細

- ①上レールセンターストッパーを上レールにはめ込み、回転させてください。
- ②上レールセンターストッパーを上レールに【2-11】、【2-9】、【2-2】で取付けてください。

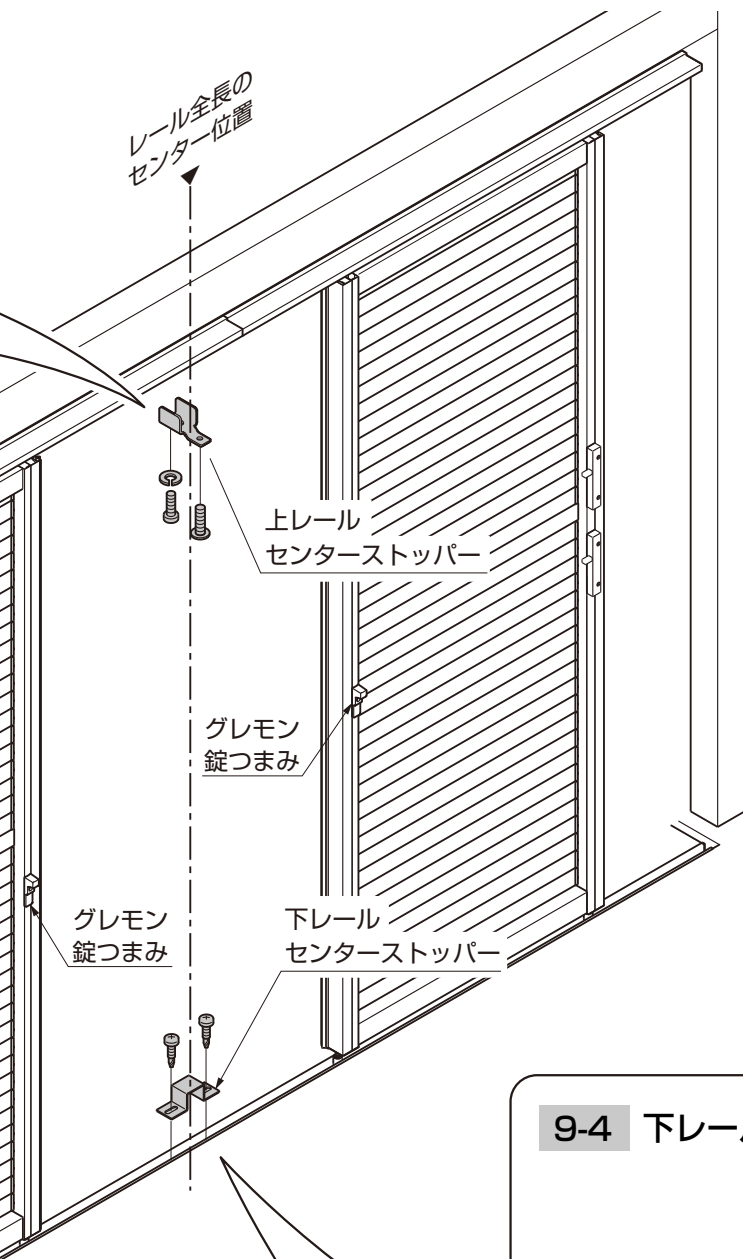
9-3 下ローラーの長さ調整



- ①下ローラーのM10ナットを緩めてローラーが下レールにおさまるように、ローラーの長さの調整をしてください。
- ②下ローラーが下レールの底やネジに接触しないことを確認し、M10ナットを締めてください。

ポイント

- 下ローラーは下レールの上部から10mmの位置へ調整してください。
- 下ローラーのM10ナットは17mmのスパナを使用してしっかり締めてください。



9-2 グレモン錠の動作確認

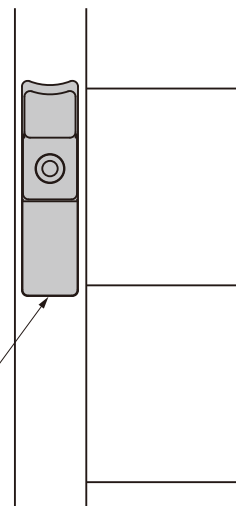
上げる：ロック



下げる：ロック解除



グレモン錠つまみ



- ①スライドルーバーパネルを閉めた状態でグレモン錠のロック／ロック解除ができるか確認してください。
- ②グレモン錠のロックができない場合は上レールセンターストッパーの位置を微調整してください。

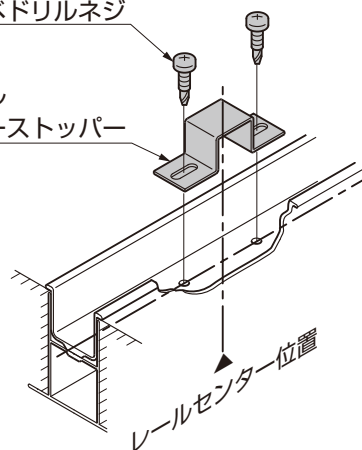
補足

- グレモン錠がロックされる穴は上レールに開いています。

9-4 下レールセンターストッパーの取付け

【2-6】φ4×13
ナベドリルネジ

下レール
センターストッパー



- ①上レールセンターストッパーの位置に合わせて下レールセンターストッパーを【2-6】で取付けてください。

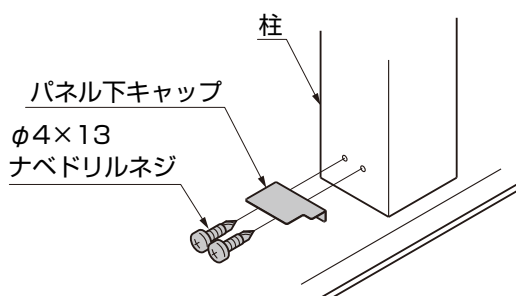
10. Gスクリーンの取付け

10-1 ルーバータイプの場合（フレーム付け施工）

ポイント

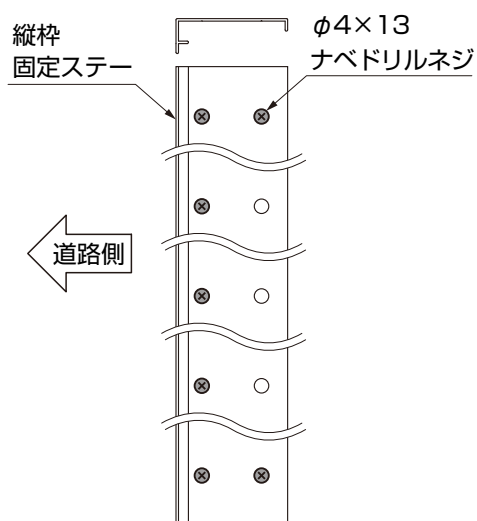
- 取付ネジは「Gスクリーン -ルーバータイプ- (C432)」に同梱のネジを使用してください。

(1) パネル下キャップの取付け



- ① パネル下キャップを柱に $\phi 4 \times 13$ ナベドリルネジで取付けてください。

(2) 縦枠固定ステーの取付け



- ① 縦枠固定ステーを柱に $\phi 4 \times 13$ ナベドリルネジで取付けてください。

縦枠固定ステー

$\phi 4 \times 13$ ナベドリルネジ

$\phi 4 \times 13$ ナベドリルネジ

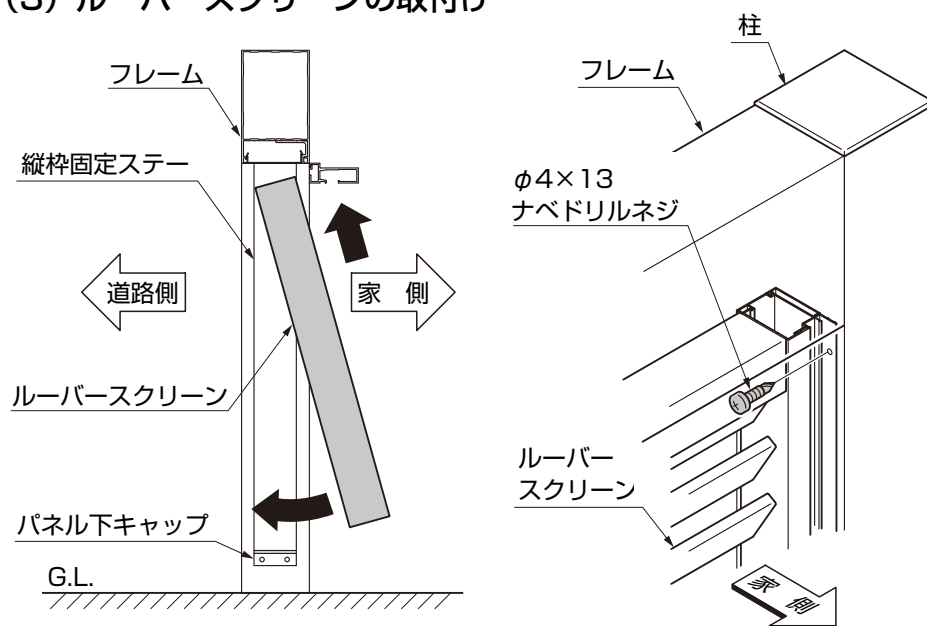
パネル下キャップ

ルーバースクリーン

$\phi 4 \times 13$ ナベドリルネジ

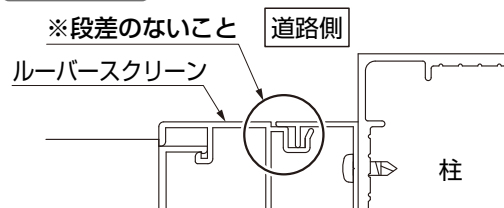


(3) ルーバースクリーンの取付け



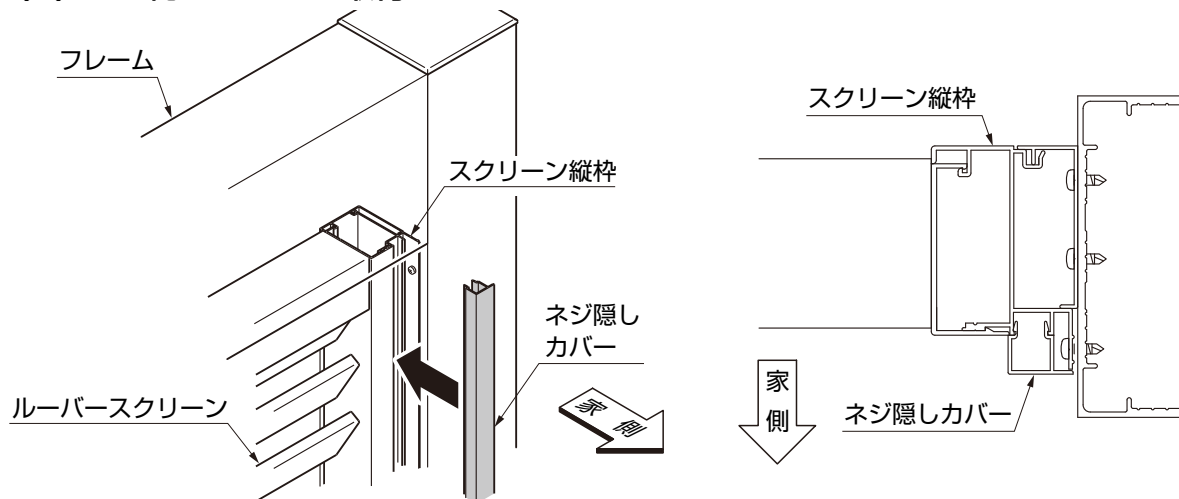
- ① ルーバースクリーンを縦枠固定ステーにたてかけてください。
- ② 下枠を持ってななめにしながら持ち上げて、パネル下キャップの上にルーバースクリーンをのせてください。
- ③ ルーバースクリーンを道路側に押しあてながら柱にφ4×13ナベドリルネジで取付けてください。

ポイント



- ルーバースクリーン取付後、道路側から段差が生じていないか確認してください。

(4) ネジ隠しカバーの取付け

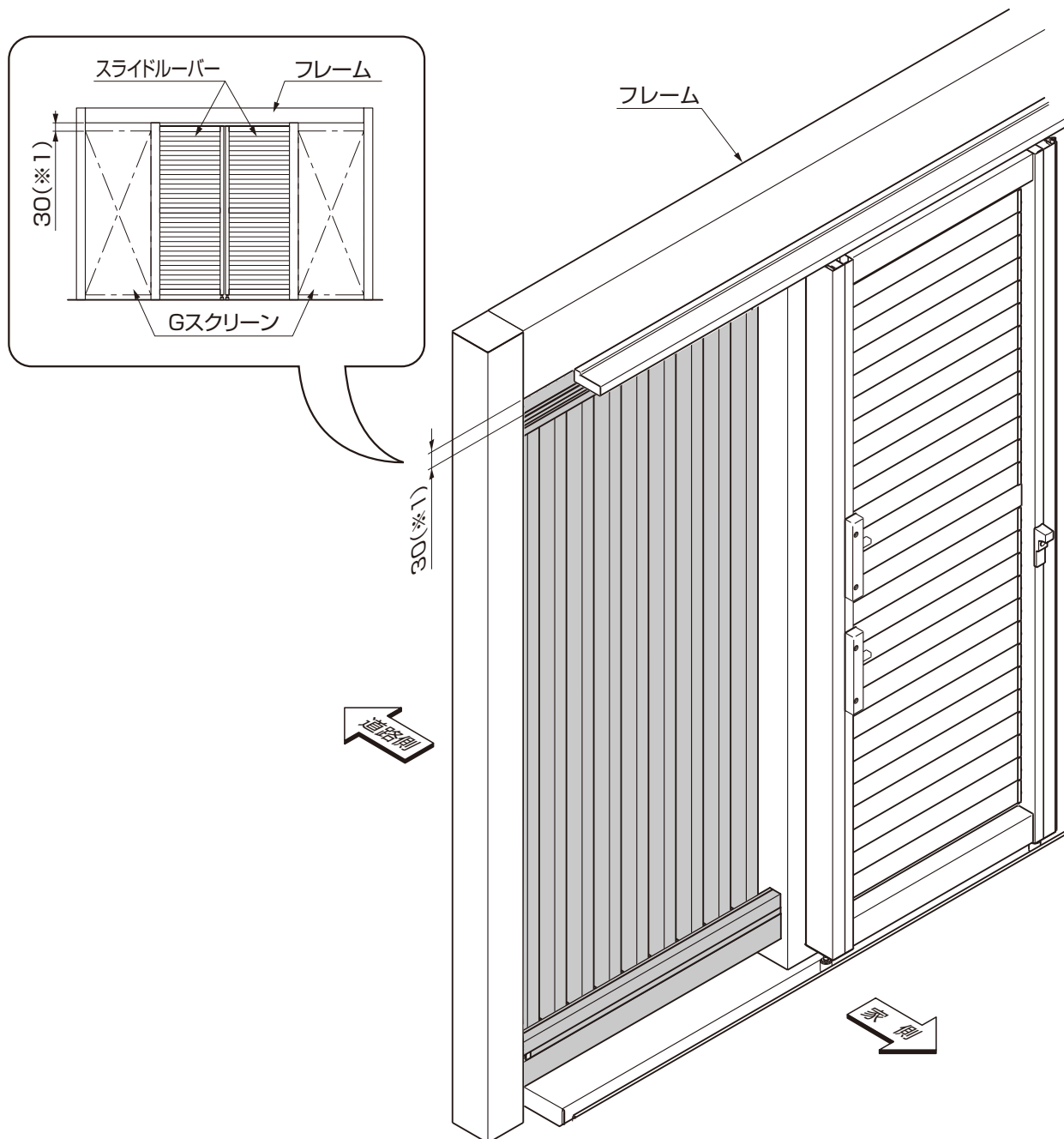


- ① ネジ隠しカバーをスクリーン縦枠にはめてください。

10. (つづき)

10-2 縦格子、細縦格子、木虫籠、板塀の場合（フレームレス施工）

※図は縦格子の場合を示します。



ポイント

- フレーム下面からスクリーン上面まで30mm（※1）あけて、フレームレス施工で取付けてください。
- 取付け方法は、各Gスクリーンの取付説明書を参照してください。
「Gスクリーン -縦格子タイプ- (C368)」、「Gスクリーン -細縦格子タイプ- (A492)」
「Gスクリーン -木虫籠タイプ- (E256)」、「Gスクリーン -板塀タイプ- (C384)」

取説コード

C432

JZZ624907B
201302A_1039
201607C_1039